

# 江 渡



目次

澁江第7号発行にあたって……渡辺達好…2  
 再び学長に就任して……福井孝治…3  
 学園だより・別府校地に体育教室完成……4  
 同窓会本部だより・同窓会総会を太閤園で…6  
 同窓会支部だより・支部総会も年々盛大に…8  
 ある提案・これからの入試……荒牧博之…13  
 風塵集……田岡雁来紅…13  
 第4回卒富田重雄兄逝去さる……原 秀夫…14  
 (遺稿)科学者と宗教……富田重雄…14

あのころのこと・発展期(2) ……15

座談会・大北先生を語る

- 学校側 北里武三氏 藤原光治郎氏 梅田武夫氏  
 浅沼玄恵氏 浜本 泰 氏  
 同窓会側 渡辺達好 柴田秀一 玉岡 浩  
 前田悦子 中村美智子 陰下嘉典  
 百瀬昭治  
 司会 比企 重 松本義和

体育会・活躍のあと ……28

- サッカー部、硬式野球部、柔道部、ラグビー部、  
 剣道部、硬式庭球部、陸上競技部、卓球部、  
 ハンドボール部、軟式庭球部、自動車部、空手道部、  
 アイス・スケート部、日本拳法、アメリカン・フット  
 ボール同好会、少林寺拳法同好会、洋弓同好会、  
 ユースホステル同好会

北から南から ……33

編集後記 ……38

グラビヤ

昭和45年度同窓会総会から ……19

盛夏の候となりましたが、会員の皆様にはますますご健勝にてご活躍のこと、およびごび申し上げます。本年度の澁江誌も編集部員各位のお骨折により、に刊行することが出来ました。今回は特に先頃ご逝去になりました大北文次郎先生の思い出を専門の諸先生及び一部同窓生相寄りまして座談会を開き集録することが出来ました。かつては大北先生も「黒正先生を語る会」にご出席を頂きまして、私共の知らない事どもをお話頂いたのでありますが、今回は巡ってご当人が語られるはめになりました。世の中は斯くなるものかな、と思えば感無量というところですね。限られた時間と限られた人々によって追憶致しましたので不十分であったこと、思います。卒業生各位の中にも先生への思い出は数多くあろうかと思いますが、在りし日の先生の追憶の資として頂きたいと思えます。時に本年度も去る二月十六、

澁江第7号発行にあたって

同窓会理事長 渡辺達好

十七日と入試を無事終了多くの後輩諸君がめでたく入学し目下新学期の学問研鑽に励んでおられるのでご安心下さい。入学試験の節は、関西地方の皆さんや、地方試験実施地の同窓生各位には格段のお世話を頂き有り難うございました。私からも本誌を通じて厚くお礼を申し上げます。

本誌には何時もながら全国各地の各位から貴重なご通信を頂き「北から南から」の欄を豊かなものにして戴きましたことを心からお礼申し上げます。ほとんど洩れなくお便りは掲載させて頂いた、いた積りですが、何卒今後とも珍しいお便り等数多くお送り下さいますようお願い致します。

終りに松本編集部長外部員各位のお骨折を感謝致しますとともに、同窓生各位の一層のご健康とご多幸をお祈り致しましてご挨拶に代える次第でございます。

再び学長に就任して

＝1万9000同窓へのお願い＝

大阪経済大学学長

福井孝治



昭和四十五年は私にとっていろいろな意味で感懐深い年となりました。すなわち、五月には旧大阪商大時代の教え子である北岡宗造君を失い、つづいて七月には四十有余年にわたる友、大北文次郎君を失いました。私の講義のある日はちょうど大北君の登校する日にあたり——あるいは大北君が意識して登校日を一致せしめておいてくれたのかも知れません——いつも、教務部の一隅でお茶をすすりながら学園のこと、世相のこと、あるいは過去の思い出等に、さまざまな事柄を語り合うのを常としました。いまや永遠にこの話し相手を失い、あとに大きな空虚が残ったような感じがします。

ご承知のように私は昭和二十五年から三十五年まで本学の学長を務めさせていただきました。その間大過なく過すことが出来たのは、一つは大北君の友愛的な支援があったからです。しかるにいまはその支援もえられず、しかもこの難局に際して、再び学長の職に就くことになりました。同窓生各位の絶大なご助力をお願いする次第です。

学園紛争は目下のところ小康の状態を呈していますが、将来どのような経過をたどるか予測をゆるしません。今日の大学、特に私立大学は実に多くの問題をかかえています。大学の在るべき姿を描くことは比較的容易です。問題は、どうしたならば現在の大学を在るべき姿に近づけることが出来るか、ということです。全国で百六十万といわれる大学生の大部分は私学の学生ですが、国家の私学に対する補助は実に微々たるものです。授業料の増額の困難である現状では、大学が存続して行くためには学生数の増大に救いを求めざるをえません。ところが、学生数の増大は教官の負担の増大となってあらわれ、いわゆるマスプロ教育の弊害がさがけがたいものとなりました。

マスプロ教育の弊害が叫ばれ、大学紛争の一因もここにあると思われるながら、しかもこの弊害から容易に脱却出来ないというのが実状です。学生も気の毒ですが教官も気の毒です。規模も小さく校舎も貧弱でしたが、学生と教官との間に親密な交流のあった本学の昔の姿が懐しく思い出されます。全学教職員諸君の協力によって、一步でも現状を脱却してより良い大学へというのが私の念願です。

# 大阪経済大学学園たより

## 福井先生再び学長に就任

### 別府校地に体育教室完成

昨年の澱江には、残念ながら学園だよりはいただけなかった。それに変わっていただいたのが、「学園紛争日記」何とも編集する上でも味けない思いをしたものだが、今年は学園紛争も小康状態、やっと昔の静かな学園にかえりつつあるようである。学園にとってもこの一年いろいろのことがあった。北岡先生の死去について大北学長代理の死去、福井学長の就任等々、その時々動きをここに記録しておく。

#### 行

- 四五・四・九 昭和四十五年入学式
- 四・十三 昭和四十五年度講義開始
- 四・十六 別府校地に体育教室竣工 鉄筋コンクリート三階建 延一、一三四・七五㎡ 工費五九、一二〇、五〇〇円 (クラブ合宿にも利用可能)
- 四・十七 昭和四十五年大学院入学式
- 五・十七 北岡教授死去
- 七・一 くり上げて夏期休暇に入る
- 七・十四 大北学長心筋梗塞にて急逝 巡教養部長、学長事務取扱に就任
- 八・八 故大北学長の大学葬を体育館で執
- 八・十六 故大北学長の納骨、京都上京の福勝寺に
- 九・一 夏期休暇明け講義開始
- 十・一 職員人事異動発令 事務局次長、人事課新設。人事、管財、経理、広報、教務、入試、学生部、研究所、体育館にそれぞれ課長をおく
- 十・二十四 正門前に郵便ポスト新設
- 十・三十一 巡学長事務取扱辞任
- 十一・一 福井教授、学長就任
- 十一・一 藤原教授、大学院委員長就任
- 十一・十六 ラジオ関西による大学の放送開始
- 十一・二〇 学生会館で内ゲバ、部屋の壁、備品等破壊さる
- 十二・十八 梅田教授、広報部長就任
- 十二・五 高校の教職にある同窓生と大学側と懇談会開催
- 四六・一・八 冬期休暇明け講義開始
- 一・十四 四十五年度講義終了
- 一・十八 入学願書受付開始
- 四十五年度後期試験開始
- 一・二十三 同窓会に入試業務の援助依頼
- 二・八 後期試験終了
- 二・十 入学願書受付締切
- 十一・二〇 学生会館で内ゲバ、部屋の壁、備品等破壊さる
- 十二・十八 梅田教授、広報部長就任
- 十二・五 高校の教職にある同窓生と大学側と懇談会開催
- 四六・一・八 冬期休暇明け講義開始
- 一・十四 四十五年度講義終了
- 一・十八 入学願書受付開始
- 四十五年度後期試験開始
- 一・二十三 同窓会に入試業務の援助依頼
- 二・八 後期試験終了
- 二・十 入学願書受付締切

#### 学園人事

- 四五年 六・三〇 職員 鉄川 強 依願退職
- 椋本 洋子 " " "
- 七・一四 学長 大北文次郎 死 亡
- " " 教授 巡 政民 学長事務取扱
- " " 職員 吉田 啓子 依願退職
- 北野藤九郎 " " "
- 九・一 新任講師 西河 光雄 体育実技
- " " 助手(生理学) 住友 一次 命ドイツ留学
- 一〇・一 新任職員 坂本 武司 体育館

- 二・十六 経済学部入学試験
- 二・十七 経営学部入学試験
- 二・二十七 入学試験合格発表
- 三・十九 卒業式
- 三・二十二 大学院、編入、転部入学試験
- 三・二十七 大学院、編入、転部入学試験合格発表
- 三・三十一 大学院卒業式
- 四六・四・二十九 奥村教授 勲四等旭日小授章を授けられる

## 学生数と受験・入学者数

	1年	2年	3年	4年	計
第1 経済	1,058(8)	951(13)	996(17)	994(16)	3,999(54)
" 経営	916(11)	941(7)	753(17)	997(23)	3,607(58)
第2 経済	320(9)	298(8)	258(7)	277(3)	1,153(27)
" 経営	228(7)	240(3)	212(3)	294(3)	974(16)
計	2,522(35)	2,430(31)	2,219(44)	2,562(45)	9,733(155)

( )は女子の問題

学部	内訳	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
第1 経済		7,652(91)	6,543(67)	1,677(14)	1,058(8)
第1 経営		5,120(71)	4,374(57)	1,560(17)	916(11)
第2 経済		749(14)	638(12)	528(13)	320(9)
第2 経営		622(18)	543(16)	445(13)	228(7)
計		14,143(194)	12,098(152)	4,210(57)	2,522(35)

(注) ( )内は女子学生の円数を示す。

- 吉村 和利 図書部長
- 岩城 幸子 教務部長
- 岡野 博子 図書部長
- 岩本 逸枝 体育館長
- 上中 公恵 図書館長
- " 経理課長
- 滝野 宏 事務局次長
- " 係長
- 桜井 弘志 体育館事務室長
- " 係長
- 中田 伊織 管財課長
- " 係長
- 野村 正澄 経理課長
- " 係長
- 田所 清市 学生課長

- " 係長 細羽 由三 入試事務室長
- " 係長 中谷 和一 教務課長
- " 係長 井手口 茂美 広報課長
- " 係長 鍋島 哲郎 研究所事務室長
- " 係長 山下 博三 人事課長
- 一〇・八 新任職員 林 義昌 庶務課
- 一〇・三一 教授

- 巡 政民 取学長事務
- 福井 孝治 大学院委員長
- 一一・一 教授 福井 孝治 学部長
- " 教授 藤原光治郎 大学院委員長
- 一二・一 新任職員 谷口 和子 経理課
- 池田 善雄 中小企業課
- 榎野 公洋 就職研究部
- 一二・一七 教授 藤原光治郎 広報部
- 一二・一八 教授 黒羽兵治郎 日本経済史
- " 教授 梅田 武文 広報部長
- 四六年 一・八 新任職員 石川マサ子 中小企業 経営研究所
- 三・三一 職員 中川 淳子 依願退職
- 森川 茂子 依願退職
- " 助教授 繁田 実造 依願退職
- 重田 澄男 依願退職
- " 講師 西村 明 依願退職
- 森 重泰 依願退職
- " 教授 藤谷 謙二 依願退職
- 原田 博治 依願退職
- " 教授 西村 元佑 依願退職

## 「大阪経大論集」購読希望者へ

本学の全学的な学術機関誌「大阪経大論集」は昭和25年創刊以来定期的に発行され、最近では隔月刊として発行出来るまでになりました。

- 卒業後も購読を希望される方には下記によりお願いたします。せいぜいご利用下さい。
- 年間 昭和46年度 No.81 (昭46. 5) ~No.86 (昭47. 3) ￥ 500
  - 分売 各号 ￥100 プラス 送料 卒業年度、送付先を銘記の上代金を添えお申込み下さい。
- 申込先 大阪市東淀川区大隅通2丁目 大阪経済大学研究所内 大阪経大学会

# 同窓会本部だより

## 今年も入学試験に協力 同窓会総会を太閤園で

同窓会にとっても、この一年いろいろのことがあった。まず最大のトピックは、年一回の同窓会総会を学園の外にもって出たこと、その他今年も入学試験に協力したこと、会計年度を変更したこと等々動きは激しかったが、総会会場を大阪市都島区の太閤園に移し、非常に盛会だったことを中心に、この一年の報告をする。

古い表現かも知れないが、「菊薫る」というのがびつたりの秋日和に恵まれた十一月二十二日(日)、桜ノ宮「太閤園」において昭和四十五年同窓会総会が盛大に開催された。

昨年度の総会は学園紛争というアクシデントのため中止のやむなきに至ったが、本年度は学園紛争そのものは根本的に解決されたとはいえないまでも表面的には一応平穏とみて常任理事会を招集、総会開催のための打合せを行なったが「会場」の決定をめぐって、学内か学外かの二説に分かれ甲論乙駁、「学内での開催こそ本来の同窓会総会であり、万難を排しても……」との説と、「学内では既に物理的に不可能であり、かつ、このあたりで大阪経済大学のPRをかねて……」という説とである。再三にわたる討論の末、学外説で意見の一致をみた。これにもとづ

いて玉岡総務部長を中心に活動が開始されたのは九月の末ごろであった。一年に一度の総会であり、学外でも同窓会規約改正(昭和四十四年度)による親睦の場としての総会は今回が最初であるだけに、今までの総会とは異った恰好でお祭りのな霧田気と、総会としての意義を両方持ち得るような考え方を基本に、着々と素案がつくられていった。

十一月二日(月)の理事会で正式に承認され、早速担当関係者は具体的準備にとりかかった。一番心配していた当日の天候は誠に良好、同窓生の皆さんの元気な「よおよお」、「やあよ」という声、「先生ごぶさたしています」、「やあ、元気ですか」とあちこちで挨拶が交わされてゆくうちにパーティ場には学生時代にかえった同窓生の顔が一つ、また一つとふえて行った。

吹奏楽部四十余名の学生諸君の演奏をバックに、グリーククラブの、ソングリーダーに導かれて声高らかに「大阪、大阪経済大学」と歌いあげ総会の幕は切っておとされた。渡辺理事長挨拶を皮切りに福井学長、田岡大学理事長のご挨拶を頂いてあとは、あちらで同期の桜、こちらでゼミ単位、先生を中心にしての懐古談……。学生諸君が日頃の練習の成果を先輩に聞いてもらおうと張切って演じている吹奏楽、グリー、マンドリン。知らぬ間に時が経つ。閉会が迫ったころには、三々五々、それぞれのグループが会場を去ってゆく。それを送るように、追うように井手教授指揮の吹奏楽の学歌が流れた。万才三唱。「蛍の光」が静かに会場に拡がってゆく。その中で昭和四十六年度総会でお互いの再会を約しつつ盛会裡に幕は降りた。

いたしておる次第でございます。現在では、いわゆる全共闘系学生、革マル系学生等の間のトラブルが若干起きてはおりますが、後期試験は目下順調に実施中であります。さて、本年も最大の行事ともいえる入学試験の期日が迫ってまいりました。本学では他大学の入試体制を参考にしながら学内諸事情を慎重に検討した結果、表面の状況はともあれ情勢は必ずしも予断を許さない点があり、行事の重要性に鑑み厳重な警戒体制のもとに実施する方針を決定いたしました。つきましては、何分にも入学試験会場は本学の他、大阪市内及び地

### 昭和45年度 同窓会理事会開催

- ◇昭和四十五年十一月二日(月)午後六時
- ◇ニュー・パレス(新阪急ビル)
- ◇議案
- 第一号議案 昭和四十五年同窓会
- 第二号議案 昭和四十五年同窓会
- 第三号議案 昭和四十五年同窓会
- その他
- ◇出席者数 六十一名
- ◇定刻より若干遅れて比企事務局長の開会の辞に引き続き、渡辺理事長の挨拶、早速議案審議にはいる。
- 第一号議案 玉岡総務部長よりの「本年度同窓会総会のあり方について」に関し主旨説明があり、引き続き比企事務局長が細部について、さらに渡辺理事長より補足的説明がなされ、これについて質疑応答のうえ、満場一致で可決。
- 第二号議案 ○昭和四十五年同窓会決議について陰下会計部長より報告。
- 三木監事より監査報告。
- 昭和四十六年度予算案について玉岡総務部長より各項目につき説明。
- 支部費、特別基金などについて質疑応答、玉岡総務部長、陰下会計部長の説明に続いて渡辺理事長の補足説明があり、満場一致で可決。
- 第三号議案 ○同窓会選出学校法人評議員に関

する件について常任理事会案を提出し審議の結果、継続審議とすることに決定。  
○松本編集部長より新名簿作成について中間報告。  
○渡辺理事長より十一月一日付にて新学長として経済学博士・教授・福井孝治先生の就任を報告。  
以上で三議案の審議を終了。別室にて懇談会に入り午後九時散会。

### 母校入試に協力

同窓会の協力依頼要請を受け、それについて一月二十六日(火)常任理事会を開催し、慎重審議の結果、昨年同様協力することを決定した。なお、この件についての学校よりの要請文は別掲の通りである。  
拜啓、春寒なおきびしい昨今でございますが、いよいよご健勝でご活躍のこととおよろこび申し上げます。  
一昨年来の紛争については、一方ならぬご心配をおかけいたし、かつ昨年の入学試験には厳戒体制のもと、卒業生各位多数のご協力を得、おかげをもちまして無事終了いたしましたこと一同深く感謝

方を含めて八カ所もある状況で、本学の教職員だけではとうてい所要人員を確保することが出来ませんので、昨年度に引き続き、重ね重ね恐縮ではございますが、二月十六、十七日の両日入試の実施に際してご援助賜わりたくお願い申し上げます。  
事情ご賢察の上ご協力下さいませよう、何分ともよろしくお願い申し上げます。  
昭和四十六年一月二十九日  
大阪経済大学 敬具  
学長 福井 孝治  
大阪経済大学 理事長 田岡嘉寿彦  
大阪経済大学同窓会 理事長 渡辺 達好殿

### 昭和45年度決算表

自 昭和45年10月1日 至 昭和46年3月31日

収入の部			支出の部		
科目	決算額	予算額	科目	決算額	予算額
前期繰越	3,276,985	3,276,985	総会費	1,597,701	1,800,000
会費収入	79,000	7,000,000	役員会費	879,456	1,400,000
名簿収入	1,425,506	1,300,000	支部費	729,500	500,000
雑収入	407,546	1,300,000	事務費	841,085	1,850,000
特別基金勘定より振替	906,989		編集費	2,569,895	3,830,000
借入金	2,000,000		学対費	380,000	1,000,000
			慶弔費	6,000	20,000
			特別基金		976,985
			仮受金	970,500	1,500,000
			次期繰越	121,889	
合計	8,096,026	12,876,985	合計	8,096,026	12,876,985

### 昭和46年度収支予算表

(自 昭和46年4月1日 至 昭和47年3月31日)

収入の部		支出の部	
科目	予算額	科目	予算額
前期繰越	121,889	総会費	1,600,000
会費収入	7,300,000	役員会費	1,000,000
名簿収入	600,000	支部費	500,000
利息収入	600,000	事務費	1,850,000
雑収入	750,000	編集費	1,600,000
		学対費	600,000
		慶弔費	20,000
		借入金(返済)	2,000,000
		借入金(返)	201,889
合計	9,371,889	合計	9,371,889

(注) なお、この決算、予算は会議年度変更にとまなう最も新しいものです

# 同窓会支部だより

## — 学園紛争にはきびしい質問 — 支部総会も年々盛大に

一昨年は、学校にとっても学園封鎖という異状事態の中で、苦悩の年であったが、同窓会でも本部総会の中止や入試協力など波乱含みであった。そんな中で変りなかったのが、この支部活動。どの支部へいっても大きな激励を受け、年々ますます盛大になっていくのはまことに喜ばしい。以下この一年の支部活動の記録である。

### 東海支部

薫風がホホをなでる望望のスポーツシーズンとなった。なかでもプロ野球は会社でのイライラを吹き飛ばし、晚しやくのムードをも高めてくれる。阪神タイガースと東海地区地元の中日ドラゴンズがいまひとつでヤキモキさせるが、それでもこの頃になると、同窓会から思い出したように電話がかかってくる。大半は「中日×巨人」や「中日×阪神」戦のキップはありませんか……。という類だが、中には「一体どうしてるんだ」というお叱責まである。私が球団の親会社である新聞社にいるためだが、昨年末の支部総会以来はつたりの音信が急に息づいてくるようであれしくなる。

キーの活躍が楽しい話題を作っている。中日ドラゴンズも、戦績を度外視して若手の働きを注目して頂きたいと弁解しているが、こんなときふと経大を巣立った各地のルーキーたちは、どんな活躍をしているだろうかと思ったりする。

名古屋港へ運んでくれる。経大の入試会場も手狭な名相銀本店から名古屋市公会堂へ移った。これからの下地は十分仕上がったわけである。あとはやはり若い人の参加を呼びかけただけである。

### 丹有支部

過疎と過密は隣りあわせといわれています。新緑に春雨の水滴が宝石のように輝き、かげろうの中に遠く近く、山並みがしあわせのふるさとをいだいてくれている。丹波・有馬の丹有地方の田園地帯にも、中小工場や団地群の建設等次第に都市化の様相が始まりつつあります。交通の便もよくなり、車を使えば篠山から神戸へは六甲トンネルを通って約四十分、大阪へは中国縦貫自動車道と阪神高速道路等を利用すると約一時

えコンサートを支援する。支部会員はできるだけ本部総会へ参加していただく。という基本線をまとめて、当日のそれぞれを有意義なものとして成功させるようにみんなで協力しました。

当日は、「ふるさとの歌祭り」で一躍有名になったデカンショの町篠山へ、大阪からバスをチャーターして、関西学生界のナンバーワンの名声の高い大阪経大軽音楽部員約六十名を篠山城跡の小学校の会場で招き講堂で盛大な軽音楽会を開催することができました。本部よりは松原常任理事をお迎えし、ごあいさつに加えて大学の概況説明・PRをしていただき、文字どおり花をそえてくださいました。広い会場には地元高校生をはじめ大阪経大のファンたちが約一、〇〇〇名もつめかけ、しろうとはなれのした演奏と好感のもてるマナー。会場設営や進行にあたった学生たちの立派な態度に鳴りやまぬ称賛の拍手を送りつけておりました。

したがって、当日の臨時総会の卒業生会員は十二名のみでした。また、昨年度に引きつづいての入学試験の協力には延十名が参加しました。われわれは「和と協力」を基盤にして、母校愛に燃え大学と同窓会発展のために手をとりあって歩んで行きたいと思っております。皆様のご多幸をお祈りいたします。

- 本年度支部役員 (梶村文弥記)
- 支部長 梶村 文弥 八回
  - 副支部長 倉垣 貞雄 一二回
  - 地区委員 芝 浩 二二回
  - 三田地区 松本 正彦 三〇回



岡山支部総会から

- 渡瀬 照正 三五回
- 多紀地区 新家 盛次 二四回
- 稲山 建男 三三回
- 水上地区 平野 芳治 五回
- 佐藤 裕之 三〇回

### 神戸支部

昨年の総会は、六月十二日、山手の相楽園会館(市の迎賓館)の大ホールにて本部から渡辺理事長、比企事務局長を迎えて開催しました。本年は、来る六月十二日(土)神戸名所になっている貿易センタービルで、学生バンドにも応援を頼み賑やかな集まりにしようと、幹事一同

### 岡山支部

張り切っています。小生、公務でアメリカ、ヨーロッパを回って総会の前日には帰って参ります。一人旅なのでどんな事になりますやら、心ぞうで行ってきます。(長島)

- 出席者 ⑤ 榎正雄 ⑥ 大森喜太志 ⑦ 岸本克彦 ⑧ 得光盤雄 ⑨ 久保雄一郎 ⑩ 林彪 ⑪ 橋高正博 ⑫ 栗原茂 ⑬ 岡村智 ⑭ 藤原弘道 ⑮ 大山達雄 ⑯ 内田正夫 ⑰ 坪井久 ⑱ 山田録二郎 ⑲ 目黒資郎 ⑳ 小坂和夫 ㉑ 岡本安太郎 ㉒ 定本良重 ㉓ 佐藤輝雄 ㉔ 中張幹三 ㉕ 難波健治 ㉖ 藤原大八 ㉗ 村上一夫 ㉘ 岸本忠 ㉙ 中砂願爾 ㉚ 荒内宗十郎 ㉛ 森上政志 ㉜ 行森俊介 ㉝ 徳岡深 ㉞ 三宅隆 ㉟ 井上兼佑 ㊱ 甲谷晴道 ㊲ 草下昌英 ㊳ 小倉好和 ㊴ 土屋徳治 ㊵ 平井健雄 ㊶ 高島典治 ㊷ 相木和己 ㊸ 磯野辰輝 ㊹ 武岡一男 ㊺ 坂谷昌 ㊻ 赤木俊夫 ㊼ 武鑑靖彦 ㊽ 谷佐田正人 ㊾ 今井兼二 ㊿ 山本丹志 ㊿ 塩尻康勝 ㊿ 渡辺肇 ㊿ 大家浩三 以上五十一名
- (来賓者) 浅沼教授 浜本助教 近藤洋逸先生 比企理事 佐々木広島支部長 以上五名
- この日将に天気晴朗にして初夏を思わせる好日、岡山県下在住の同窓生も今年には四〇〇名を突破し益々大阪経大の岡山県下に於ける力強さを思わせるものがある。
- 出席予定者六〇名超過したのも支部始って以来の好調振りに会場のスペースを心配しながら同窓生の参会を待つも最終的に五十一名の出席となつてやっと会場に入れる状況、誠に嬉しい悲鳴である。
- 母校からは岡山の地に縁の深い浅沼先生また若さを代表する浜本先生のお二人が参加して頂き地元からは往時の名義義ぶりが未だに語り草になっておる近藤洋逸先生が寸暇をさいて参列して頂いた事は古い卒業生のもっともうれしいことである。また同窓会本部からは比企理事がご出席下さり、また隣県広島から遠路

わざわざ佐々木広島支部長がはせ参じて下さった事は大きな感激であった。

支部長開会の辞に次いで夫々の来賓の方々からお祝辞を兼ねて母校の現状、同窓会本部の状況等を久し振りに同窓生一同耳を傾けると同時に過ぎ去ったそれぞれの自分の学園時代を想起して感無量といった感じであった。

やがて美しいホステスさんのサーブで一同水煮に舌つづみを打ち杯を傾けて歓談すること二時間。あちらに爆笑、こちらにヒソヒソ話と色々のグループが出来てそれぞれ旧交を温めた一日であった。

### 広島支部

学部の増設について

今回はそれぞれ卒業回数と姓名を記入した札をつけて貰って先輩後輩の溝を忘れてお互いに社会人として母校大阪経大の同窓という事に団結して今後も大いに母校発展のためまた同窓生お互いのために毎回毎に出席者が増加して行く現状を保ちたいものである。

私にも息子が一人おりますが、最近の若い人の傾向として、大学志望は①職業 ②学部 ③特定大学を条件としており、私大の財源として志願者を集めることが一大事業であるためには、経済学の真理追求が看板である、経大には将来にわたって不利となることを考えられます。

したがって、時代の要請に沿って情報、コンピューターを主とする管理、情報学科、交通工学を盛り入れた交通学科、社会心理及び語学を中心とした学科等の増設がのぞましい。

また、学部の増設については、経営ならびに文部省への認可などについて問題点も多しと考えられますので、当面の処理策として昔の支那経済研究所の復活は、日中貿易問題の進展に関連しても、最も近道の方針ではないかと思われまますので、この点真剣にご検討をお願いいたします。

(支部長 佐々木)

### 山口支部

大淀の水は春ゆく、豊かな春だに常任理事世良氏の出席を得て、山口県支部同窓会を宇部市にて開催いたしました。

山口県支部会員百余名のうち、小田護支部長以下二十名と数の上では淋しさもありましたが、そこはまた名にしおう世話人(支部、小野田地区)のこと、大変な肝いりで愉快にかつ盛大に行うことができました。

常日頃多忙な生活を送っている諸氏が、ある人は前月から、ある人は商談のあい間を縫ってかけつけてくれました。卒業して以来数年ぶりの再会、がっちり握手し、互いの健康

を確めあい友人のその後の動静を語りあう人、そこには利害や日頃のわずらわしさから離れ、大いに語り、うたい、かつ大いに喰って楽しいひと時を過ぎたのであります。

### 徳島支部

(長光)

久しぶりに五月十五日(土)富田町「浜伊」で同窓会徳島支部総会を開催したところ二十五名の参加を得た。同窓会本部より玉岡浩、稲福善男両先輩のご参加を頂き、先ず支部長の挨拶のあと、玉岡氏より学校の近況の説明あり一同一々うなづきあって母校の発展ぶりを喜びあい、後祝宴にうつり午後九時すぎ大阪経済大学学歌、学園歌を全員斉唱のあと散会した。

尚全員の申し合せにより、徳島支部会員名簿の整備と本年の盆踊りに会うよう、踊浴衣の調整をする事を決議した。(徳島支部長谷俊一郎)

### 九州支部

ことしの九州支部総会は、2月17日に開催しました。支部総会は毎年経大の出張入試が福岡市で行なわれるので、タイミングをあわせて試験終了の2日目に総会を開いていきます。福岡市での入試は、経大からは井上教授を始め総員4名で、16・17日の2日間、試験場の福岡商工会議所ホールで行なわれました。

同窓会本部からは、中村美智子理事と支部からは小生がお手伝いをしました。

福岡市での受験生は経済が三百三名、経営が百四十五名、全部で四百四十八名が受験しました。受験比率は昨年にくらべると、伸びやかなの感じですが、ここ数年、九州地区ではコンスタントに五百名前後が受験しています。これは大阪経大に九州地区からの受験生が、いちおう定着したということになりますか。

母校に一層の気概と健康を贈ろう今年もまた、わが母校も経済学部一八・九倍、経営学部一二・七倍という数多くの志願者を得た。この一事だけでも、母校の年毎発展を心から嬉しく思っておる一人です。これも偏に福井学長先生を中心とされた大学側諸先生方の並々ならぬご努力の賜と深い感謝と敬意を表しております。

### 福井支部

おすこしくください。

(九州支部長・6回・荒牧博之)

学生諸君には今後はスポーツに学業に常に心身を練磨され、「大経大」生として何等恥じからぬ行動をもって、学内的にも全心的にも大いに名声を挙げるよう頑張ってください。

また、我々同窓生もこの際、渡辺理事長を先頭に一同が一丸となり、母校伸展のためにはたえず過去を顧み現在を直視してゆかねばならぬと思ひます。そしてお互いがしっかりと力を寄せただけでもすばらしい力を母校にプラスすることが出来ることを再確認して、私達の誇る母校「大阪経済大学」が、今後も社会の要求に応えるべく更に一段と発展するよう不拔の気概と健康を贈りたいと存じます。そのために今日日程同窓先輩諸兄各位の切なるご協力と、ご支援が最も必要に迫まれているのではないかと思う次第です。

最後に駄文を以て、失礼ながら、学長先生、諸先生方の益々のご健康を心から念すると共に同窓各位並びに同窓会と関係皆様のご多幸とご活躍を祈り上げます。

(内田)

### 三重支部

九〇余名の同窓会員で構成されている三重県支部も東海支部より分かれ三年目、第三回の支部総会を左記の通り開催しました。

日時 昭和45年7月12日午前11時より  
場所 三重県津市三番町 魚宗利館  
協議事項

- (1)支部会計報告並びに行事報告
  - (2)昭和45年度行事計画
  - (3)母校三重県出身学生(三重県人会)主催にて大経大グリークラブ発表会支援に関する件
- 目的 三重県における大阪経大のPRと再認識  
日時 昭和45年7月20日午後六時

### 三重支部

時

場所 三重文化会館

例年より期日を引上げて開催しましたのは、母校グリークラブ発表会の関係で三重県支部としても出来るだけ協力せねばとの立前で、支部会員諸氏にご案内申し上げて無理をお願いいたしました。主旨に対しては一同ご理解下さいましたが、支部総会開催が何分急でしたのでご出席は10名余りで残念でした。

本部よりは遠路わざわざ渡辺理事長、陰下理事のご出席の栄を賜わり一同感謝致しております。当日のご出席各位のご賛同で、三重県人会宛に三重支部として一金二万円を寄金致しましたのでご了承下さい。尚発

### ◎新名簿についてお知らせ

同窓生の皆さん 待望の新名簿、一九七〇年版ができましたのでご入用の方は左記の方法により事務局にお申し込下さい。

記

◇新名簿、一九七〇年版  
昭和十年三月卒業(第一回)から昭和四十五年三月卒業(第三十六回)までを収録。

◇申し込方法  
現金書留、郵便小為替、郵便振替、なお、郵便振替をご利用の方は、

・口座番号 大阪・九七二二一〇  
・加入者名 大阪経済大学同窓会  
なお、用紙ご入用の方は葉書にて事務局にお申し出下さい。

銀行振込をご利用の方は、三和銀行天六支店、普通預金、大阪経済大学同窓会理事長、渡辺達好口座にお振込下さい。

◇代金一部 一〇〇〇円です(送料同窓会負担)  
(事務局)

ところは、福岡市郊外・室見川河畔の料亭「三四郎」清流には白魚がちらほら、春をつけていました。この白魚をすくって、名物のおどりの喰いなどの趣向をこらしました。メンバーは写真のとおり。中村理事からの同窓会の近況報告や、井上教授からは経大の学生問題などに、耳をかたむけましたが、同時に美酒あふれる盃もかたむけて、経大の発展をねがった次第。なお紙面を借りておねがいですが、同窓生の方の未登録の方は、福岡⑥6700ばんへ、おでんわください。では、おげんきで

表会に際し三重県教育委員会後援に  
ついては、支部長小生が交渉を取付  
けましたことを報告申し上げます。

発表会当日(7/20)は聴衆一、  
五〇〇余人を集め盛況裡に開幕、再  
度のアンコールで音楽同好の方々に  
酔わせ、目的を十二分に果せまし  
たことは主催者の三重県人会担当学  
生諸君に深く感謝したいと存しま  
す。本当にご苦勞様でした。今後共  
益々団結を堅くして県人会活動に励  
み郷土「三重」での大阪経済大学の  
名声の向上にがんばって下さい。こ  
活躍を期待致します。

はなはだ簡単ですが報告を終りま  
す。支部会員各位のご健康と今後の  
ご協力を懇願致します。(支部長  
水上)

### 西宮支部

文教住宅都市「西宮」、緑としあ  
わせの町、学園の町を標榜する西宮  
市に大阪経済大学同窓会西宮支部が  
会員四〇〇余人をようして発足して  
早や三年経ちました。

同窓会本部ならびに神戸支部、丹  
有支部の暖かいご支援によって独立  
した次第ですが、世話役を仰せつか  
った西宮市役所勤務の幹事の怠慢で  
44年度は支部総会を開かずじまいと  
なり、一同恐縮して、本年はせめて  
もの償ないにと7月25、31日の  
2回にわたり支部総会を開催、懸案  
の支部会員名簿も新同窓会名簿をも  
とによりやく作製することができま  
した。

三月総会には、大学側より藤原教  
授、同窓会本部より世良理事、比企  
事務局長の出席を得て、西宮市民会  
館会議室で懐旧談や経大の現状につ

いて時間の経つのも忘れるほど話題  
に花が咲きました。

支部運営の今後の課題として、今  
少し出席者数の増加をはかりたい。  
特に、最近卒業の若い人達の参会を  
得て、本部の期待にそう支部活動を  
展開したいと考えております。今後  
共、ご指導のほどよろしくおねがい  
申しあげて簡単ですが、支部活動状  
況報告を終わります。

### 大阪府立支部

役所の年度は歴年でなく、会計年  
度である。即ち四月一日に始まり、翌  
年三月三十一日に終わっている。わが  
支部も、この年度を準用している。わが  
従って、支部だよりも四十五年度と  
いうことになる。

二代支部長として、多年支部育成  
発展のため努力をしてこられた中村  
宗啓氏(三回卒)が四十五年四月十  
一日付をもって、大阪府役所を定年  
退職されたため、支部申し合せで支  
部長は現職をもってあてることがな  
っている。同年六月二十九日臨  
時総会を開催、中村支部長の多年の  
労を謝するとともに、新支部長の選  
出をはかったところ、満場一致で村  
上静夫氏(五回卒)を三代支部長に推  
せんした。初代支部長広田実氏(一回  
卒)の提唱で、職域支部が結成され  
たのが戦後間もないころであったか  
ら、すでに二十数年を経過している。  
支部発足当時は、会員数も十数名  
後であったのが、今では七十数名の  
大支部に発展している。会員の増加  
は、とりも直さずわが大阪経大の隆  
昌をもの語っているものと喜んでい  
る次第である。

さて、本年二月九日に北区内八仙  
至で春季総会を開催した。本部から

渡辺理事長、比企事務局長を始め、  
母校から梅田教授のご臨席をいただ  
き総会が一段と盛り上がり、毎回の  
ことながら懐旧談や、職場の話に花  
が咲き、和気あいあいのうちにお互  
の親睦をますます深め、盛会のうち  
に幕となった。

### 和歌山相互BK支部

和歌山相互BK支部  
支部長 服部 友一

渡江編集原稿依頼について一言提  
議します。  
「渡江」も母校発展、同窓会発展  
と共に歩み続けるものと思われま  
す。卒業生にとり唯一のコミュニケ  
ーションの媒体であり、益々発展を  
願うし、支援も惜しみません。唯い  
える事はすべての事が母校愛という  
名目の下に、それにのみすがり原稿  
を依頼していても何時迄も続くもの  
でなく、編集者の原稿集めに弱る事  
が招来します。只今のところ喜んで  
執筆する事が可能でもやがては相  
当の苦慮が考えられる事は、社内報  
という命令的な機関でさえも仲々に  
原稿が寄せません。そこで各自それ  
ぞれの業(なりわい)の中にあつて  
多端を割いて母校誌の為に寄稿する  
という事は容易ではありません。つ  
いては、今後何等かの形で薄謝を贈  
呈する方法、例えば大学の記念品  
(PR品)等でもかまいませんが、  
労に対して報いる方法でもとらぬ限  
り、我々の支部の方に於いても会員  
に只単に寄稿せよでは果してどうい  
う結果になるか、ご一考を煩します  
社内報に於ても我々のところは薄  
謝を贈呈しています。何もかも母校  
愛という名目のものにすがつてい  
いい結果が生まれるか、順調なれば  
よし、さもない時はやはり一考を要  
します。ご勘考下されたく。(斎藤)

### 同窓会支部役員

東京支部	支部長	服部 友一
東海	"	加藤 正秋
滋賀	"	野田 邦弘
京都	"	木下 隆徳
丹有	"	梶村 文弥
神戸	"	長島 隆
姫路	"	永川 仁一
和歌山	"	松本 旬弘
岡山	"	大森 喜多志
広島	"	佐々木 一義
山口	"	小田 護
高松	"	矢野 保郎
徳島	"	谷 俊一郎
高知	"	横田 憲介
九州	"	荒牧 博之
石川	"	石地与四太郎
福井	"	内田 甫
富山	"	重松 尚
三重	"	水上 敏夫
西宮	"	増田 憲治
大阪府役所支部	支部長	村上 静夫
和歌山相互BK支部	"	斎藤 照雄

### ある提案

## これからの入学試験

### 荒牧 博之

大阪経大の入試は、ことしも2  
月に行なわれたわけだが、福岡市  
での出張入試に、お手伝いをした  
ときに、こんなことを考えてみ  
た。入学試験制度というものは、  
十年一日、程度の差こそあれ同じ  
ような方式で、繰り返しされてい  
るが、もうここらで考え直してい  
いではなからうか。

### 理想は入試の全廃

だとするならば、どうすればい  
いか。いろいろな方法が考えられ  
ようが、極端にいうなら、理想と  
しては、入試は全廃した方がい  
い。これはある専門家の提案だが

その方法というのは、入試をやめ  
て、そのかわり書類審査で聴講許  
可を与える。単位の認定は簡単に  
は与えられない。この方式では、  
だから大学別の卒業証書もなし。  
履歴につくのは、どこの大学を卒  
業したかというのではなくて、何  
という教授の何という講義をきき  
何単位を認定されたかということ  
になる。これだと、ひとつの大学  
に固定されることがなく、まこと  
に個性豊かな、創造性に満ちた人  
間教育にふさわしい制度というこ  
とができる。しかし現実には、  
そう単純にはまいるまい。  
文部省あたりでも、大学入試の

改革を迫まられており、その考え  
方の方法として、「高校調査書」  
「全国共通学力検査」「大学の健  
康診断」「大学が適当と認めるそ  
の他の資料(論文テスト・面接)」  
の四つの柱で、積極的に改革にふ  
みだそうとしているようだが、高  
校からの内申書の尊重や、全国共  
通の学力検査などは、さして新ら  
しい提案とは思えない。  
ただ、信頼度の高い方法として  
大学が実施する論文や面接につ  
いては、受験生の創造力や思考力を  
テストしようというもので、入試  
改善の努力として、それなりに評  
価してもいいと思うのだが……。  
このように、論文や面接方式を重  
視すれば、阪大などのような不正  
入試のみせかけの学力は、すぐに  
化けの皮は、はがれるだろう。  
入試の方式といえは、ことし行  
なわれた東大の第2次入試の、い  
わゆる「論述方式」は、入試改善

のひとつの進歩といったらいいす  
ぎになるだろうか。  
これまで行なわれてきた×〇方  
式は、ただ受験生に丸暗記させる  
だけで、人間性をゆがめるような  
原因をつくったことに、強い批判  
をうけてきたようだが、入試問題  
がこのような客観方式から論述方  
式に移行してきたことは、人間教  
育の方向としては、好ましい動き  
ではある。

### 入試担当部門の常設

それから、つぎに大阪経大のな  
かに、入試機関を常設してみたら  
どうだろうか。経大には現在、入  
試専門員が選任されているよう  
だが、大学経営の組織としても、  
入試担当部門の常設を提唱した  
い。アメリカあたりでは、各大学  
にアドミッション・オフィスとい  
う入試専門の機関があつて、専門  
的に入試の業務を担当している。

この機関が、各高等学校の進学指  
導者と、常に連絡を保って、入試  
の合理化を行なっているわけだが  
これまでのように、入学試験シー  
ズ前に、大学教授が急ぎ集つ  
て、試験問題をつくるというので  
はなく、このような入試常設機  
関で、真剣に入試改善に、とりく  
む意欲が必要ではなからうか。

大阪経大は、このように豊かな  
創造性や、魅力ある構想力、そし  
て、すぐれた論理的思考力ある人  
間をつくる教育の場であつてほし  
いと思うが、そういう意味からも  
これからの入試制度は、思いきつ  
て、こころあたりで、勇気と教智  
をもって改善してほしいと思う。  
(6回卒・西日本新聞社編集局特  
信部次長)

### 風塵集

田岡雁来紅

(月光)

いさかひて帰る野の道穂すすきの枯れたる上の月に真向ふ。  
迷ひある心くなくまろ照らされてさぶしえ丘の月光に立つ。  
罪ふかきわれを照らせる月の光冷たきまでにぬれて野に立つ  
団交に能力の限界わが知りて帰る野道の月夜こほろぎ。  
幼な孫がふみいゆく庭月光のあわあわとして素足を照らす。  
笹の葉の打水光る玄関に楓溪先生の声の洩れ来る。  
(大文字)  
大文字燃えつつける時の間は京路さながら大古のごとし。  
ドライなる人の世にして寂しさの思ひのたけを燃ゆる大文字。  
大文字消えたる街の軒に吊る紅提灯に風いでにけり。  
大文字送り火消えて夕闇にひとつ河鹿の澄み透る声。

### 四回卒 富田重雄兄逝去さる

原 秀 夫

昭和四十六年二月四日午前二時、われ等の村長、富田重雄兄が脳溢血のため五十九才の生を終えられた。急を聞いて松戸のお宅に伺い奥様にお悔みを申し上げ最後のお別れをさしていただきましたが、本当に眠るが如く安らかなお姿でした。何でも二月二日に突然意識が無なり、嘗ての職場の化学療法研究所へ入院

れました。にこやかに微笑された遺影を前に故人の徳を偲んで集まった多数の会衆の祈りの裡に盛大に営まれました。

私はクラス代表として米津先生の奥様と一緒に参列させていただきましたが、学生時代の三年間を通じ、

昭和四十六年二月四日午前二時、われ等の村長、富田重雄兄が脳溢血のため五十九才の生を終えられた。急を聞いて松戸のお宅に伺い奥様にお悔みを申し上げ最後のお別れをさしていただきましたが、本当に眠るが如く安らかなお姿でした。何でも二月二日に突然意識が無なり、嘗ての職場の化学療法研究所へ入院

ました。にこやかに微笑された遺影を前に故人の徳を偲んで集まった多数の会衆の祈りの裡に盛大に営まれました。

### (遺稿)

私は十二月で、三十年にわたる研究所生活を一応閉じ、今後は社会保障の一環に立働くこととなった。顧みると、この三十年の前半二十年は市川の結核の研究所とその付属病院の勤務であり、後半の十年は都内の癌と強心配糖体の基礎の研究所(薬学)であった。私はそこで数多くの学者に出会った。この二方所とも財団法人の経営する研究所であったが、いずれもその主宰者(理事長)はキリスト者であった。

も赤川の渡しを利用して淀川堤を歩いて登校、どうして自転車にでも乗らないのですか?と聞いた事がありました。距離にして4kmは充分あったと思うのですが、ズックの手提カバンを小脇に抱いて頭を心持ち傾け少し前かがみになって歩いていたら大兄の姿や記念祭の折クラス一同幼稚園生に扮して遊戯をした時の大兄の姿等懐しく目の前に浮んできます。

### 科学者と宗教

二人の学者との出会い

富田重雄

最初の市川の主宰者東大名誉教授、元伝染病研究所長日博士は細菌学の権威で、その結核の化学療法の先駆者的、開拓的研究は社会的にも有名である。博士は大分前のことであろうか、当教会にも一、二度来られて説教されたことがあり、能弁な学者であった。博士の信仰生活はさして長くはなかったようであるが、研究所の行事

は全てキリスト教によった。これには設立者の一人Y氏の蔭の力があつたが、無宗教の職員もさして抵抗もなくこれに従っていた。博士の信仰はそう深いものとは思われなかつたが、ある日博士が私につくづく洩らしたことは、今に忘れられない。「私がもし教会へ行っていないならば、大悪人にな

I博士は、ご自分の邸内に教会を設けているほどの篤信の薬学者であり、かのピタカンツァー、グロサン等の創始者である。東北出身の博士はどちらかというと寡黙で、本職は最近まで国立衛生試験所の所長をしていたが、内的には燃えるような信仰を秘めながら、外部にはちっともいゆるキリス

す。遺族は奥様の外男女夫々二人宛四名の子女があり長男の方は既に就職、二女三女は結婚してお孫さんがあり、二男は今春大卒、中外製薬へ就職されています。外孫はあつたけれど男の子達二人共まだ一人なのが残りの心残りといえは心残りであつたと思ひますし、別紙遺稿の通り第二の職場も決り、もう一働きという希望に燃えておられた矢先でもあつた訳ですが、どうか安らかに眠り下さるよう祈って止みません。

追悼句 秀夫

君が温顔語り給わず春立つ日  
温顔のまつ永眠や春立つ日  
微笑のまつ君逝きし春立つ日  
春晩に君は旅立ち給いけり

ト者くさいところがなく、研究所の行事も前記の日博士のようにキリスト教を強いなかつた。その信仰の発現は、ごく自然の形であつた。博士の信仰は大学時代の内村鑑三先生と宣教師ミスモークの影響によるところが多かつた。内村先生のことは多く知られているので、ここではミスモークの一端に

触れたい。ミスモークは旧福音教会派の宣教師であつたが、そのバインブルクラスからは多くの学者、実業家、政治家などが出ている。その指導は博士の宗教心をゆさぶつた。戦時中某所に抑留されていたときのこと、ミスモークの近くに米軍の焼夷弾が落ちミスモークは号泣したという。付近にいた警官の一人はどうしたのかときいたとき、この焼夷弾によって幾人かの日本人が殺されるが、自分の上に落ちないのをなげいたというのである。博士は多くの公職をもっているがかのネパールの岩村昇氏の活動も博士が理事長をしている海外医療協力会の活動である。

上記の二人の科学者の信仰のもちかた、そのあらわしかたは、それぞれ異っているが、科学と宗教を合致させた両科学者の信仰態度特にI博士のキリスト者としての自然な信仰のあらわしかたに深く心を打たれている。(松戸教育月報一九七一・一・より)



# あのころのこと

## 6

# 発展期

(2)

### 授業料斗争に情熱

(二十回〜二十五回)

第二十一回卒といえは、卒業した年は昭和三十年、もうこの頃になると日本の国も敗戦のショックからすつかり立直つて、めざましい経済発展への道を着々と歩み出すわけであるが、この二十一回卒から二十五回卒に至る五年間は、過去四回にわたつて語られた激動、変動とはうって違って、特に目立った大きな事件もなく、比較的安定した学生生活を送ることになる。

学園そのものにも大きな変化はない。校舎は旧校舎、特にめばしいものを探してみても、旧校舎の西の端ちよと学生通用門を入つた所に図書館が出来た位のこと、現在の新館や図書館、それにデラックスなD号館、E号館といった教室など、まだそのかけらもなかつた。そこは広い校庭で休み時間や昼食時など芝生の上によくころがったものであつた。

学生の数も、いまのように一学年に何千人といつたものではない。こ

- ▽……この企画は、卒業生の口づてに伝える学園の歴史である。……
- ▽……この学園も、創設されてすでに三十有余年、その間幾多の……
- ▽……波乱、幾多の変せんを経て、いまや大阪経済大学として、……
- ▽……揺ぎない基盤の上に立派な校風をうちたてた。思えば浪……
- ▽……華高等商業学校にはじまり、昭和高等商業学校さらには……
- ▽……大阪女子経済専門学校、大阪経済専門学校、そして大阪……
- ▽……経済大学へと五つの大きな変動期を経過。それぞれに苦……
- ▽……難の道ではあつたが、苦しみにつけ悲しみにつけ、はた……
- ▽……また喜びにつけ、いまは楽しい思い出として、それぞれ……
- ▽……卒業生の胸に暖く宿っている。その折り折りのエピソード……
- ▽……ドーそのエピソードを綴り合せたのがこのページである……

されてきた。昼働き夜学お学生にとつてはことは深刻である。第二学部は猛烈に反対、第一学部がむしろひきずられる立場になつた。

この闘争も、結局大学側に押し切られるかっこうになつたが、こうした学生のことも考えて大巾な分割払いを認めさせた。その後の経過の中で、大学側も学生の個々の事情によつては随分待つてくれたものである。

ただ、ここで一つことわつておきたいのは、紛争とか、闘争という表現をもちいたが、この学校側との対立の中で、学生は燃え、大きなエネルギーとなつておつたことは事実だが、ぬきさしならない心の離反はなかつた。

学生は学校の立場を、また学校は学校で学生の立場を認め合つて、やりとりはなるほどきびしく激しかったが、あとにしこりを残すようなものではなかつた。対立がとげたあとには再び昔の師弟の立場にかえつて和気あいあいとやつたものである。先生と自治会の対抗野球試合もやつたし、懇談は平常から続いていた。

### 授業料斗争のこと

そんな中で、やはり忘れられないのが授業料値上げにともなう闘争であつた。

学校も心得えたもので、在学生をあまり刺激しないようにと、新入学生から授業料を大巾に上げるという方法でのぞんだが、やはり授業料の問題は学生一人一人にとって重大な問題である。アルバイトをしながら学校に來ている学生も多い。折角向学心に燃えているものに水をさすものだといふわけである。

そうそう重大なことを書き落したがつてに第二学部が二十六年に新設



### 放送設備のこと

目ざましい発展もなく、さしたる社会的変動もない時代であったこともあって、落ち付いた環境の中でじっくり勉学に取り組むことが出来たが、当時のちょっとした思い出の中に、学園の放送設備のことがある。

われわれが入学した当座は、授業の開始と終りは昔ながらの小使さんの振る鐘であった。あの鐘には、なんともいえない風情があったが、いつとはなしにサイレンに変わった。三十年頃のことである。

君という経済学徒にとってはちょうど風変わりな学生がいた。機械いじりが大好きで、自ら進んでこの放送施設いっさいをつくってくれた。費用は三分の一学校持ち、三分の一が自治会持ち、あとの三分の一は厚生部の売店収入の中から支出、コソコソと何日もかかってやり上げた。

当時は、ようやくマスプロ教育への風当たりが強くなり、本校でも学生数の増加にともなう、合併教室大はやり時代だったが、人気のある授業になると、合併教室に入り切れないという事態もしばしばあった。その上低音の先生になるともういけな



思い出の食堂

いうしるの方は「きこえませーん」ということになる。無理に声をはり上げて声をつぶしてしまつた先生も幾人かあった。

こんな中で放送施設は、大いに役に立った。授業はすみずみまでいきわたるし、第一に必要事項の周知徹底は、これでいっぱつて解決した。S君様々といつたところである。

二十九年といえば、ついでに散髪屋の開業もあった。値段は三十円、四十円、格安ということもあって相当地に繁盛した。ビートルズスタイルはまだこのあとのこと、頭だけはみんなサッパリとしていた。もう一つ露店で万年筆を売っていたのも、この頃のこと、もちろん倒産品ではない。のどかな学園風景の一コマであった。

のどかといえ、学校の周辺もまだのどかな田園風景であった。われわれが卒業すると同時に、市場が建つたり商店が建つたりでまたたく間にこの辺の農地は蚕食されていったが、当時、この周辺の土地の買収の話が出たことがあった。坪八百円、千円といったウソのような値段であったが、強引に買っていたならという悔が残る。でもその頃は学校の金庫も空ケツ、世の中は思うようにはいかないものである。

### 全国私学協大会を

授業料闘争とマスプロ教育の問題がはしなくも出たが、こうした中で全国的なスケールの行事を本校でもつたのも当時としては特筆すべきことであった。

これは昭和三十年に開かれた全国私立大学協議会大会で、北は北海道から南は鹿児島にいたるまで各私立大学からたくさんの人達が本学に集

って熱心な討論が行なわれた。年々国公立と私学の授業料の格差は開くばかり、インフレにともなう年々のベースアップもあって私学経営は危機にさらされてきつあつた。そこには私学に学ぶ学生の苦しい生活が赤裸々にさらけ出された。何とかしなければという切実な叫びもあつた。また一方では、授業料をおさえた場合、入学者の定員増はさげられない。これがマスプロ化に拍車をかけている。もっとゆつたりとした環境でじっくり勉学に取り組めるよう国の立場で、私学振興をもつと真剣に考えるべきであるというわけである。どの課題を取り上げても私学にとっては利害が一致する。会議は大変な盛り上がりを見せたが、こんな中で私学の中に大阪経済大学ありとその存在を示すには絶好の機会であつた。

この大会を開催するにあたり、その準備のために関係者は随分と徹夜をやつたが、会議の盛り上がりは、こうした苦勞をいっぺんにふつとばしてくれた。

爾来、本学でも全国的なスケールの会議やセミナーが開かれるようになったが、これに先鞭をつけたものとして、大いに評価されてしかるべきと思つた。

他面、学生運動の方も決して下火になつてはいたわけではない。当時の攻撃目標は大学三法、この悪法に対しては、一人大学関係者だけではなく手論もこぞって反対、激しい反対運動を展開したが、わが校も全学ストで意志表示を行ない、教職員も一体となりハトバス三台に分乗、大がかりなデモ行進を行なったが、これが新聞に報せられ、大きな社会的反響を呼んだ。この他憲法改正反対闘

争など随分派手にやったものであつた。

### クラブ活動のこと

運動といえば、クラブ活動の方も盛んだった。

特に当時注目をあびたのがサッカー部、わが校は伝統的にサッカーは強かったが、この頃がまさに黄金時代、全国制覇するところまで駒を進めたのである。ここでも全学あげての猛烈な応援が行なわれ、学生の七、八割方まで西宮球技場に押しかけてヤンヤの声援を送った。惜しくも全国制覇はいつしたが、学生の一体感をこれほど強く感じたことはなかった。選手の一挙手一投足に酔いしれた、あの感激は生涯忘れることはないと思う。

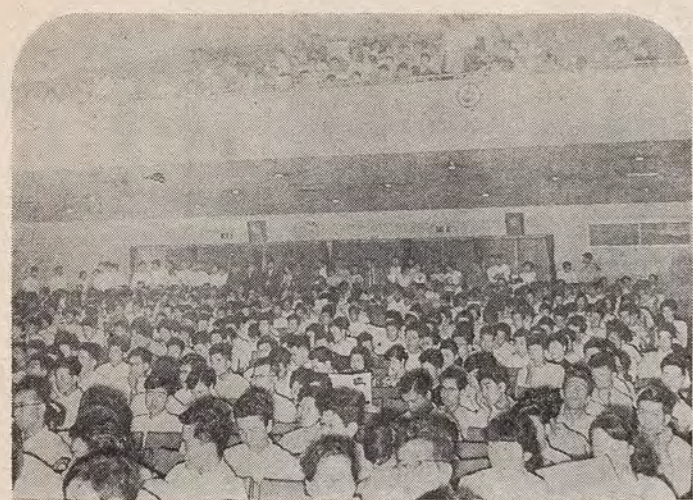
ただ、この感激の中で一抹の淋しさを感じたのは、組織的な応援が出

来なかったことである。こうした競技には、エールの交換はつきものである。ところが、こちらにはそれがない。エールは一方通行、何とも恰好がつかなかった。わが校にも応援団をつくつては、期せずして上つた声である。

しかし、当時は応援団にまつわるいろいろな暴力事件がマスコミに取りあげられ、応援団の解散を行なった大学さえあつた。

いざ、本学でも応援団をつくるということになる、こうした一連の事件もあって反対の意見も根強かつた。特に自治会活動に対する反発を危ぶむ声も大きかつたが、体育会関係のたつての要望や熱心な先生の援めもあって、ついに問題を起した時は解散するという条件つきで応援団の結成が認められた。その後の応援団は規律ある行動と団結の力で、常に学生の先頭に立つて大きな役割を果してきていることとご承知の通りである。

この頃の体育会関係では、サッカーを先頭に、野球でも、近畿六大学では常勝軍で何度に挑戦したが、今一步というところ



超満員のサンケイ会館（芸術祭）

で涙をのんでいた。軟式野球、軟式庭球、卓球、籠球などもかなりの戦績を残していた。グラウンドといえ

### 応援団活躍中



図書館、D・E号館のあるところ、江口のグラウンドもまだない。狭い校庭を時間制でフルに使って、この成績である。よく頑張つたものだと思ふ。

また、学術会、芸術会の活動もなかなか活発なものだった。前回の話題にも出ていた馬小屋同然の部屋で、隣の声は筒抜けという悪条件ではあつたが、その狭い室の中では常に議論が沸騰し、研鑽が重ねられていた。

当時の自治会予算がどうであつた

かといえ、学生数が増えたこともあつて相当裕福にはなつていた。年間三五〇万円から四〇〇万円ぐらいはあつたらうか。

しかし、あつてないのが金、これを分ける段になると毎年粉料に粉料を重ね、スナナリとはいかなくなつた。実績に応じての分配となるわけだが、この実績の評価が問題で、めぬくこともしばしばだった。ただこれに結着がつくとあとは残らない。ところが学生のいいところで、分ち合つたさやかな金を最有効に使つて、次の年の実績に結びつけていったものである。

### 芸術祭のこと

ただ一つ残念だったのは年々女子学生が減つていったこと、十何年も前の女子学生の数と顔がいまでもすぐに浮び上ってくるのは、当時はそれだけ関心が深く稀少価値であつた証拠、たしか全学を見ても片手の指でまに合つたのではなかつたらうかうるおいのなかつたのは確かだつた。

さしずめ、これで一番困つたのは満足な演劇が出来なかつたこと、当然外人部隊の輸入ということになつた。

この最大の供給源——いや協力者といおう——がお隣の成蹊女子短期大学、本学のF教授が講師をされていたこともあつて渡りは早かつた。何かという成蹊女子短大には足を運んだものである。しかし、そこはそれ女の園、いつか成蹊女子短大の理事長さんの耳に入るところとなつた。協力まかりならぬというお達しが出た。何とも不粋な話だが、でも、このきついお達しよりも男、女の引力がなお勝つて、年一回の芸術祭最

# 昭和45年同窓会総会から

## 昭和45年11月22日 太閤園において



同窓会総会は、年1回の同窓生のお祭りである。賑やかに、楽しく、しかも感激に満ちた1日でもある。不幸にして1昨年はこのお祭りを開くことが出来なかったが、その埋め合せもあってか、今年の会場「太閤園」には、同窓生がどつとつめかけ、大変な盛り上がりを見せた。同窓会総会を外部でやるのははじめて、いままでとはまた違った雰囲気の中で、ほんとうに楽しく有意義な1日であった。

大の出し物には四人の女子学生が協力をしてくれた。これには大いに感激をしたものである。

芸術祭といえば、その頃かつての朝日会館から大阪では最新のビルでしかも最新設備と音響効果を誇るサンケイ会館に場を変えたが、その借り賃が一日で十三万円、当時の初任給が一万円そこそこであったから大変な額、身分不相応だと随分非難も受けた。



芸術祭演劇「馬」から

満員、大変な盛会だった。

芸術祭と対比されるいま一つ大きな年中行事は体育祭、これにも青春の情熱を大いに燃やしたものである。

呼びものの仮装行列の準備に夜を徹したこと、ファイヤーストームに酔いしれたこと、各部対抗競争に勝敗を度外視して歯をくいしばって走ったこと等々、いまでもその情景が鮮明に頭に残っている。



体育祭の仮装行列

### 先生のことなど

最後に、毎回続けられている先生の思い出について――

やはりトップバッターは大北先生残念なことに昨年八月幽明境を異にされたが、それなりに印象も強い。戦後の苦しい学校経営に全身全霊を打ち込まれ、その心労が一度に出て胸を患い、長期療養されることになったが、床に伏していながら、念頭にあるのは学校のことはかり、お見舞いについても話題は全て学校の問題だった。一方学問の道にもきびしい先生だったが、ゼミの学生が訪れると蒲団の下から英文毎日の切り抜きを取り出して、これを積してみなさいとやられたものである。ここまで来てシゴカレルとはと、その時は恨めしく思ったものだが、いまでは本当になつかしい思い出である。亡くなられた方では国文学の秋本先生、甘いものが何よりの好物で、いつも微笑をたやさない先生だったが急にポッキリ亡くなられた。現在歌いつがれている学歌の作詞は、この秋本先生である。

そうそう、それに西野入理事長、西沢理事長と相ついで経営者を亡くしている。西野入理事長は新聞界の出で、あけつびろげで太腹な方だったが、惜しい人を亡くしたものである。

現存者では、まず福井学長、温厚誠実、まず非のうちどころがない。封鎖解除後の学園の非常事態に再び学長に就任されたが、けだしこの人をおいて外にはないだろう。授業は特殊授業で時間数はそう多くはなかったが、演壇の上を右にいたり、左にいたり、かなりの労働だなぁと思ったことだった。

奥村先生、藤原先生、浅沼先生、ずい分とご厄介になったが、現在もご活躍中なので、おしゃべりだけで紙面の掲載はご遠慮しておこう。梅田先生は、当時と病気で長期療養中だったが、卒業時には元気で復学された。お元氣になられたのは何よりだった。

ちょっと変わったところでは、統計学の松村先生、なりふり構わずとは

この原稿は、つぎの方達にお集り願ひ、いろいろとお話をおききした中からまとめたものです。

- 第21回生 黒才 洋氏
- 第22回生 谷口 一郎氏
- 第23回生 大槻 明司氏
- 酒井 弘光氏
- 西本 集一氏
- 第24回生 欠 席
- 第25回生 村井 十三男氏
- 邑上 享氏
- 水野 敏也氏
- 松田 陽文氏

先生のこと、よれよれの服にズック靴、どう見ても一介の労働者ぶり、ギューギュー詰めめのバスの中で「おっさん押すなよ」といって、授業に出て見ると何と先生、びっくりした学生も何人かいる。その授業も変っていた。授業は十五分、本日やることと黒板にぎっしり書いて「みんなわかりますか、わかった人から出ていってください」、何とも最初は奇妙な感じがしたのだが、まことに先生らしい講義だった。

倉辻先生、中村先生、井上先生、井手先生……卒業年次も若いだけにそれぞれに強烈な印象がある。しかし、これも皆さん現在活躍中だ、書ける時がくれば書くことにして、いまは録音のテープの中にしまっておくことにする。

五年間のことを、一、二時間で話をせよということである。語り足りないことはもちろんだが、あるいは重要な問題が落ちてくるかも知れない。そのへんのところは平にご容赦願ひたいと思う。

(文責 松本)



本閣正面玄関の受付



屋台も出て食欲は旺盛



会場全景、人・人・人の波でした



美人はいつになっても

# 大北先生を語る

— 学問を犠牲に学園につくす —



大北先生が亡くなられてはや一年、月日の経つのは早いものである。

大北先生は、わが学園にとってはなくてはならない人であり昭和商の昔から、大学院をもつまでになった今日の大阪経済大学にいたるまでの発展の中で、最高の功労者であり、主ともいえる人であった。その薫陶を受けた同窓生もまた多い。今回は学園で苦楽を共にされた先生や、同窓生が合いより、大北先生を偲ぶ座談会を企画した。

### まれにみる秀才

渡辺 本日はお忙しい中をありがとうございます。今日は「大北先生を語る」ということで皆さんにお集りいただいたわけですが、大北先生は文字通り昭和商から大阪経済大学にいたる今日まで学園の基礎を築き

最後は学長という職責にあって昨年七月に亡くなられたわけですが、まさにその功績は大なるものがあるうかと思えます。ありし日の先生を偲び激江に掲載したいと存じますが、存分にお話をいただきたく思います。

— それでは座談会に移りたいと

存じますが、限られた時間に大勢の方々から出来るだけ盛沢山なお話をお伺いしたいと欲ばった企画でございますので、さしあたり皆さんから三分以内で大北先生の思い出を語っていただき、あまった時間を、その話題の中からいろいろ取り上げてお話しを願いたいと存じます。

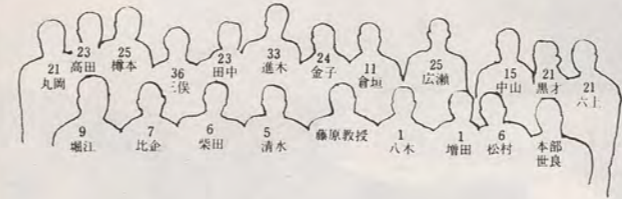
それでは、大北先生とは一橋時代からお知り合いであった北里先生から。

北里 私は先生とは一橋よりもっと以前からの知り合いで、私は京都の商人の生まれなんです。先生も京都で、ちょうど私の家の隣りの人が大北さんが京都第二商業の組長であった時に、副組長だった。その人から大北さんの話はよくおききして、鼻たれてポットしているが、まことに秀才なんだと。私が小学校出て幸い無試験で実習商業に入れたもらったんですが、その時も私の家へやってきて是非二商にこい、うちには大北文次郎という神戸高商に入った期待の秀才がいるし、そういう人がぞくぞく出てくるから二商にこい。それで試験の前日に手続きしてもらって受けた。そんなことで小学校の頃から深い因縁があったわけですね。

### 学問を犠牲に

藤原先生

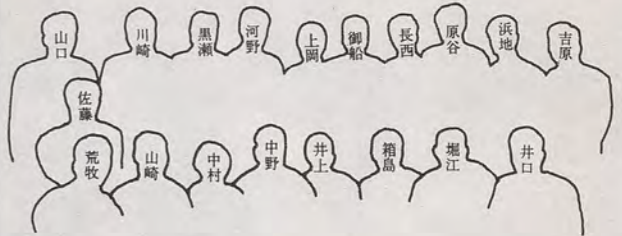
藤原 大北先生は昭和十一年に昭和商高にこられました。最初から教務課長という役職でした。あとで初めから教務課長でくるとは夢にも思わなかったと述懐しておられました。黒正先生、菅野先生には非常に感謝しておられた。先生は頭の緻密な秀才形で、学者としてもご承知のように金融論、特に信用創造ですかクリ



西宮支部総会から



九州支部総会から



山口支部総会から



エーション・オブ・クレジットにおきましては日本の權威、日本的學者であつた。ただいろいろな因縁がありまして、学問も半ば捨て、アルバイトも犠牲にされて大学のためにつくされた。ためにアルバイトは量的にはそんなに多くはありませんが質的には高く評価されていた。先生がいつかいわれていたの思い出すんですが、いつ頃かわかりませんが手相を見てもらわれたんですね。その時手相見が、あなたはお医者さんになるか學者になれば成功するといったそうです。實際學者の方で昭和商にこられなければ日本的な學者として成功された方だと思います。幸か不幸か、学校の創立以来雑務に追われて十分な学問も出来なかつた。半ば學校發展の犠牲になられた、その点お気の毒であつたと思います。また先生は學者である反面非常に人情味のある人で、人情に厚すぎて時にはマイナスの面がありましたが私は敬愛おしまない人でした。

—— 梅田先生

梅田 僕が昭和商高にきたのは昭和十一年の四月二十三日で、当時の五回生の入学式の日でした。その時高商時代の校長室に入ったのですが、金子先生、山下、松浦先生皆なおられて狭い所に押しこまれたようなかうでした。大北先生が窓ぎわにおられて、さつと僕のところにやっきて僕はこういうものですと名刺を出された。私はびくりにして恐縮したんですが、ふつと見るとしゃれた服で非常にダンディだったのをおぼえています。じ来三十五年、いっしょに仕事をしてきました。戦中、戦後いろいろなことがありましたが、僕にとっては大北先生は空気のような、水のような存在だった。何かの

時には、最後には相談して下さると思つたけれども、結局そんな機会もなかつた。私自身もいざという時には相談に乗って下さる人だと思つてましたが……、

—— 浅沼先生

浅沼 学校でいっしょに仕事をしたということでは僕が一番長かつたと思います。長かつただけにあまりあらたまつて思い出なんかをきかれるととっさに出てこないんですが、お見えになった当時はまだ奥さんが福島においでになつていて、一学期ごとにお帰りになつていて、若かつたせいか何かこうそわそわなさつていたのをおぼえています。そんな平凡なことしか残っていない。

それから、当時からずつと時間割を西沢さんとやつていましたが発表の前々日ぐらゐから徹夜でやる。私は酒を飲みませんが西沢さんは飲む方で平安食堂から酒とつて、寒い頃ですからストロブの横で飲みながら苦勞してやるわけです。その出来上つたものを大北先生に目を通してもらう。苦勞してやつと出来あがつたものを、何の苦もなく、当時は紙切れに書いていましたが、これを自分の思うところに置いていかれる。僕もまだ若かつたから、あれだけ苦勞してつづつたものを十分か二十分で変えられるのが不満だった。どういう理由で変えられたか、ききもしませんでしたし、いまだにわかりません。

### 亡くなられる寸前まで

—— 浜本先生

浜本 私は昭和二十二年に大阪経済専門學校に入学しましたが、いまでもガリ版刷の入学許可書の一番最後に大阪経済専門學校校長事務取扱大

りで亡くなられた。何か學校へ入つて始めからしるまで縁があつたという事で、大變目にかけていたただいことを感謝しています。

### まれにみる人格者

—— 渡辺理事長

渡辺 大北先生がおいでになつたのは私が昭和商の三年生の時だつたと思います。金融論を教わりました。素晴しい講義をなさつた。もつとも早口であまりわからなかつたがこちら真面目に一生懸命やりました。試験の点は不思議によかつた。

先生は、先程来からいろいろ話がありました。非常にすぐれた才能の持主であり、すぐれた學者であつたと同時に、またすぐれた人格者でもあつた。私は卒業した後も同窓会の關係で常時先生とおつき合をしてきました。學校に対しては黒正先生がおいでにならないこともあつてすべてをひつかまえておやりになつておつた。反面非常に頑固で片意地なところもありましたが、よくいえば信念の人であり、自分が正しいと思えばあくまで貫ぬかれた。ために歴代の理事長さん学長さんを手こずらせた面もありましたが、これも學校を思う切々たる情から出たもので先生ならではなかつた。學者としてまた人間として私の尊敬おくだわざる人でした。

—— 柴田さん

柴田 大北先生と私の父とが非常に親しくしていただきました。家族ぐるみのおつき合をさせていただきました。昭和十三年頃でした。大北先生が就職の斡旋をしておられた關係上、私の父が日立製作所におりました卒業生をとつたわけですが、以来

ずつと高商から日立へは入つていきます。私の父は有名なカンシヤク持ちでしたが、父からきいた話では先生も福島高商時分には相当なカンシヤク持ちだつたらしい、そんなことで妙に気が合つたようです。

### 忘れられない大北メモ

—— 玉岡さん

玉岡 私が高商に入つたのは昭和十八年でしたが、戦争中で大北先生の講義はたしか原書講読で、スマスの国富論の第一ページから、原書講読はもとより初めてだったので印象に残つております。その後は戦争が激しく兵隊にとられたりしたんですが戦後藤原先生をはじめ諸先生のすずめもあつて昭和三十年に職員として経大に帰つたわけです。それ以後大北先生にはきびしく指導いただいたんですが、昭和三十九年経営学部が出来ましたが、その前年文部省へ申請の書類を出さなければならぬ。私は図書館の仕事をやつておりますが、申請書をつくるのは大變な仕事で、大北先生も必死の形相で取組んでおられた。毎日呼びつけられて、昨日はどうだつた、こまかな点まで実に丹念に質問される。そのたびにうろつろさせられたんですが、辛い皆さんの力で蔵書目録をつくつて、これが認められた。身体の調子の悪い時は家へこい。一週間のうち呼ばれない日はないくらい呼びつけられた。今日呼ばれたのはこれだろ

本学教授	北里 武三氏
助教授	藤原 光治郎氏
理事	梅田 武夫氏
役員	浅沼 玄恵氏
"	濱本 泰氏
"	渡辺 好氏
"	柴田 秀一氏
"	玉岡 浩氏
"	前田 悦子氏
"	中村 美智子氏
"	陰下 嘉典氏
"	百瀬 昭治氏
"	比企 重氏
"	松本 義和氏

北文次郎と書かれていたのを思い出します。先生の講義は非常に丹念で自分のおっしゃつたことを黒板に書かれる。書いては消し、書いては消して、必ず二度いわれる非常にやさしくて、わかつたか、わかつたかと囁んで含めるような親切な講義をされました。

私が大学を出て、ここにおいでになる先生方から目をかけていただき帰つてきてはどうかというお話があつたんですが、特に大北先生には心配いいただきました。今日私があるのは大北先生のおかげと感謝している次第です。その先生が亡くなられた三十分前には私はおあいしているわけです。それは昨年の七月十三日に教授会がありまして、その教授会の様子や学長事務取扱いだつた先生に報告するため八時過ぎに電話をかけたんです。奥さんが出てこられて浜本さん今日は主人が苦しみますして今

うと用意していくと違う。時には一生懸命やつたのがみんなアウトで、何回かやらされたこともある。その時先生はきついなやなあと思つたものでしたが、その反面素晴らしい頭の人のなあと思いました。先生は學校全体の総務部長をやつておられたが職員の仕事をやつておられたがもう図書館の中のコマかいことまで実によくご存じでした。四十一年、四十三年、大学院の時、経営学部以上の予算を使つてやりましたが、その時は殆んどタッチされなかつた。その時に叩き込んであるということだつたんでしょう。

もう一つ忘れられないのは大北メモ、非常に緻密にこまかく書き込んであるんですが、それに従つて順番に呼ばれる。これも先生独得のものでした。四十三年の大学院が終つた時に、私のところにおいでになつてしみじみ三十分ばかり話をされたんですが、君達は職員である。教員には残していくものがある。それはアルバイトだ。私は残念ながらたくさん残さなかつたが、君達職員は忙しい時はこき使われる、しかし終つたらすべて忘れられる、これをしっかりと腹におさめとけよ、そうでないと腹ばかり立てておらねばならぬよと、先程から先生は昭和商の犠牲者であるといわれましたが、そういう点を含めてしみじみおっしゃつたことをかみしめているわけです。

### 女性には親切だった

—— 前田さん

前田 私達が入るまでは昭和商で男性だつたんですが、私達が始めて女子学生として迎えられた。女子ということもあつて、大變やさしくいたわつていただきました。ただあと

晩お医者さんに来ていただきましたとおっしゃるんです。これは大變だと学部長にも電話したんですが、水谷学部長から夜遅く明日の朝早くいってこい。何だか虫の知らせでしょうが私はいきたくなかつた。以前に教務課に大西というのがいて死に目にあつていて、私がいくと縁がが悪い。それでも七時半に家を出てお宅にお伺いしたわけです。お悪いということでしたので玄関で失礼しようと思つたんですが、どうしても上つてくれということで、お会いした。「先生お元氣そうですね」ということつくりうなずいておられて、紙を出せとおっしゃる。その紙に赤鉛筆で昨日の教授会のことを書いてくれ私十行ほど書いて渡したんですが、読んでわかつたわかつた、長居しても悪いと、暑い時ですから十分お気をつけになつて帰つたんですが、帰りの電車の中、ちょうど十三あ

になつて戦争が激しくなつて男子の高商がむずかしくなり女子の學校に切り変えざるを得なくなつた時、先生の中でもいろいろな議論があつた中で大北先生が一番女子教育に踏み切られるのが遅かつたとききました。あのやさしい大北先生が何故かと思つたことでした。私達も入学して以来昭和商高にまけないでやろうと各自がやる気を出して頑張りました。或る時、大北先生が女子学生に事務的な書類を作る仕事をさせられたんですね。その友達が非常に優秀で、事務能力が抜群だつたんでしよう。先生も女子の中にもこんなのがいるんかと見なおして、元々フェミニストであつた先生が大の女子職員になられたときいています。私達が卒業間きわになると、いまのように就職部などなかつた時代ですから、廊下や授業の終つたあとで一人一人に就職がきまりましたか、どういう方面にいきたいですかなど再三声をかけておられました。また、社会人になつたあとも、私の留守中に先生がお出になつて、近所まで来たからどうしているかと思つてと尋ねてみえた話を母からきき、学生時代特に接触のなかつた私までおきにかけていただいと感激をしたものです。

私も縁があつて大学にお世話になっていますが、面とむかつては何もおっしゃいませんが、何かの時に大北先生はあなたのことをこのように推せんされたんですよと、このようにおっしゃつていたんですよ。この話をきき、いい面ばかりをいつていただいているのに感激しました。先生はどんな時も他の人の悪口はいわれませんでした。それを身上にしておられました。まれに見る人格者だつたと思ひます。

中村さん

中村 前田さんから学生時代のこと  
その後の女子学生とのつき合をおっ  
しゃったので、私は少し大北先生に  
ついて私の個人的な感想を述べさせ  
ていただきたいと思ひます。まず大  
北先生は、いまい政治家的な能力  
が全然ない方で、権力欲とか金力欲  
そういうものを欲するタイプと違  
つて、先生はむしろ芸術家になら  
れたら、もっとも適していたと思  
う。二年ほど前にお会いした時、補聴器  
をあてながら「中村君、きみ伊藤整  
の『若き詩人の象徴』を読んだこと  
があるか」といわれ、話合つたん  
ですが、その時ハッと思った。先生は何  
となく事務屋で、事務能力の秀れた  
人と思つていた。私にはそういう能  
力がありませんので先生を敬遠して  
いましたが、大北先生の本質を見る  
思いがしました。そんな目で見ると  
芸術家の要素が非常にあるように思  
う。というのは先程渡辺さんからも  
先生は頑固で自分の世界を頑強に守  
られたという話がありましたが、芸  
術家はみなそうだと思うんですよ。  
或る意味でももっとも芸術的に経大  
を経営されていたのではないかと、政  
治的でないのに非常に妥協をこぼま  
れる、変屈でさえある。しかし学者  
芸術家としては非常に素晴らしい能  
力をもつておられた。もう一度生れ  
変わる必要があるとするならば芸術家  
になられたらもっと成功されると思  
う。ともあれ学校のために先生の一  
生を捧げていただいたことに心から  
感謝をする次第です。

一生を黒正先生に

百瀬君

百瀬 私は大北先生の生きかたを見  
てきた場合、学校というものを通じ

て一生を黒正先生に尽されたのでは  
ないか、この一語につきると思う。  
黒正先生の話をきき、また大北先生  
の話をききながら、先生は結局、黒  
正先生に対する感謝といひますか印  
象を大事にして、それを素直に貫き  
通された。

また、大北先生はその時点の自分  
の生活を非常に大事にされた。いま  
のお宅にしても変るといふことを考  
えない。変化を非常にきらわれた。  
清貧に甘んじて、自分に与えられた  
ものを大切に一生懸命努力をされ  
た。こういうものが一生涯を通じて  
あった。

反面、子供ボイところもあって若  
槻君と私と三人で東京にいった時も  
柳宗悦の民芸品の展示してあるとこ  
ろに寝たんですが、これから中山君  
(中山伊知郎氏)のところへいつてく  
るからといひそ出かけられた。と  
いうことは中山先生とは非常に親し  
かったと同時に「ボ将棋の相手でも  
あったわけです。あの大学昇格の激  
しい時でも自分のペースはじつと守  
つておられた。

それから、あの時分はよく東京へ  
いきましたが、我々は前日にいつて  
学生会館にとまるんですが、先生は  
三等の夜行で、急行にも乗られな  
い。夜行で昼前について山手線に乗  
つてくたくたになってこられる。こ  
こまで学校のことを考えておられる  
のかと、われわれも学生会館の宿泊  
費を節約するために東京に下宿して  
いた学生のところどころがり込んだ  
りしましたが、先生の学校に対する  
気持はいちぢずでした。

陰下君

陰下 私は百瀬君と同期なんです  
が大北先生が亡くなられたときと同  
時に、お気の毒なことをしたと思ひ

か、そんなことはなかったです。

浅沼 あやまりはなかったですね。  
ただ何故直されたかわからない良  
くなったか悪くなったかもわからな  
い(笑)

北里 それがあの人やりのやり方です  
ね。それでは最初から自分でやれば  
よい。みんなに一生懸命やらして  
あとで自分でパッパッとやる。あの  
人と道をいっしょに歩いていって性  
格がよくわかる。非常にせつちな  
人で、あれ乗りますか、これ乗ります  
か、そうですかそうしますか(笑)  
あれだけ決断をしない、じりじりも  
のを伸ばしラチのあかない性格はな  
い。先程人事のこと申しましたが、  
繰り返して繰り返して、反対者があ  
ると例の大福帳みたいなメモをもつてそ  
の人のところへいく、これを何回か  
やるんですが、一週間するとそのメ  
モが変る。それで結論はないかとい  
うと、あの人好きな結論はさきに  
ボンと出ていて、その方向へマイナ  
ス要素を消しに消してもっていく、  
ところがハタの偉い人とやらなら  
ん時には、そんな余裕がない。そう  
すると独得の味が出ない。人事は、  
わしがやらんならんや、これがあ  
の人の最後まで残った妄念だった。  
現に人事は誰もやっていない。これ  
からは各部でやらなければならん  
があれだけ一生懸命人事やった人  
はない。誰が何年何月どの雑誌に論  
文乗ったか、本人よりよく知っていて、  
本人にいうとそうですか(笑)そ  
うしたものを持っていて、早いですが  
遅いですが、自分が早いか遅いか一  
番よく知っている。(笑)結論はわ  
かっているから早くないでしょう。  
そうでしょ、そうでしょ、たい  
したものです。ところがこれだけ人  
数が増えたら、それが出来ない。先

ました。私達の時は、いま百瀬君が  
いったように一方では大学昇格問題  
があり、一方では激しい学生運動が  
ありましたが、いろいろと迷惑を  
かけたり、お世話になりましたが、  
先生は常に清れん潔白で陰の立役者  
であつた。

時代も激動していましたが、大学  
昇格や戦後の学生運動で、自治会の  
諸君が大変に活躍をしてくれて授業  
に出る時間も少なかった。そこで試  
験の時には各先生の所へよろしくた  
のみまっせとデモンストレーション  
をかけたんですが、大北先生だけは  
絶対に駄目だった。反面人一倍気  
にかけておられて、君等にも気の毒な  
ことだが、これだけはどうしようも  
ない、勉強して下さい、といわれる  
んですが、公私の別のはっきりした  
非常に高潔な人だと思ひます。

学者としても超一流

ひとわりお話を聞きまし  
ましたが、いまのお話の中にも先生の  
学校に対する献身的な努力が浮きほ  
りにされましたが、もう一歩押し  
すめて、学者としての先生をもう少  
し掘り下げていただきたいと思ひま  
す。大学昇格のおり文部省にもま  
りました。文部省でも高く評価さ  
れていたのを憶えています。

北里 東京商大の同期の方、それに  
左右田門下の人達の評価は非常に高  
かった。先程中山先生の話が出ま  
したが、中山先生も大北先生を高く  
つておられた。アルバイトを犠牲に  
された話も出ていましたが、数は少  
いが、残っているものは珠玉のもの  
ばかり、内容ももちろん立派ですが、  
文章がまたうまいです。簡潔でなか  
なかの美文です。  
藤原 いつだったか年代は忘れまし

たが、名古屋大学から招へいされた  
ことがありましたが、もしあの時か  
わつておられたら、もっと学問的に  
は名声を博されたと思うし、アルバ  
イトも出来たと思ひます。

北里 アルバイトが出来なかったの  
は一人大北先生だけではなかったで  
すね。あの人には自分に関係の深い  
ものは苦勞すべきだ、という考え  
があつた。私も他にやる機会があ  
つたんですが、大北さんに相談した  
ら、一時から夜の八時まで説得され  
た。先程、先生が黒正先生に一生つ  
くされたという話が出ましたが、ハ  
タのものをつくすべきだ。七人船に  
乗ると船が沈む一人誰かがはまらん  
ならん、その時はお前はまれ(笑)私  
が何ではまらなければならんかわか  
らん。一時から八時までウナ井よば  
れてかわかることはならん、お前は苦  
勞すべきだ。大北先生の紹介で女の  
先生がお入りになられたが、その先  
生も同じことをいわれた。私が世話  
して入れた人間はこの大学にもう身  
を埋めるべきだ、かわかることはも  
つてのほかだといふわけです。あの頑  
固さは私にとつて骨身にこたえまし  
たが、何かいうと私が死ぬまで待  
てませんか(笑)先生と出張すると旅  
費ももらえない。これがあたり前  
になつてた。

最高の功績は人事

北里 そういふところがありました  
ね。あの先生の経済大学に対する最

生も限界を感じておられた。総務部  
長ですから何でもやりますわな。私  
に専務理事の話があつた時も、お前  
が専務理事になるほうの大学の  
落ちぶれていない(笑)そんなに  
わけて私はやる必要がないと、半年  
やらなかった、そしたらもめまして  
ね。なぜ止めるか。止めていない。  
そこでやっと専務理事になつたん  
ですが、えらい人ですね。(笑)

死ぬ前にいわはつた。私が病気で  
やめて、あの人学長代行になりは  
つた、そして組合の応対に出はつた。  
「組合ってえらいですな」(笑)は  
じめてねがらわれた。  
中村 あれだけ学校のことを心配し  
て、しかも頑固とまでいわれる程自  
分の主張を通される、それじゃな  
ぜ学長になつてやられなかったのか。  
渡辺 そこが大北先生のよいところ  
で、政治力もなかったがみじんもそ  
の気がない。それでいて学校の運営  
には人一倍気を使つておられた。耳  
がきこえないでしょう。それでも補  
聴器を耳にあてて一言もききもらす  
まいと一生懸命生きておられた。  
北里 私は学長になる意思がなかつ  
たとは思われない。あの結論出して、  
これを何が何でも貫いていく、これ  
が先生方も頭上げて敬服していな  
がらも、全体が必ずしも支持出来な

藤原 時期的に病気になられたでし  
ょう。果して激務にたえられるか  
を心配して僕等もそう思った。  
中村 なられるんなら、もっと以前  
にその機会はあつたと思ひます  
よ。  
梅田 戦後一時本庄先生がこられ  
る、これがないといつた時分に、大  
北先生にいつたがなられなかった。  
政治力があるとか、ないとかいふ前  
に、何かがあるんじゃないかと思  
ひました。

音楽に深い造詣

先生の趣味、趣好といつたも  
のは、随分甘いものが好きだつた  
うですね。  
北里 好きだったのは茶碗むしにオ  
ムレツ、あの人のは西陣か何かの  
立派な家だね。子供の時からせい  
に育てられた。男は一人でしょう。  
昼からさしみ食べてね、有名だつ  
たですよ。

藤原 甘いものには目がなかったが  
最近黒飴。亡くなられたあと朝日  
新聞に常時甘いもの食べていると心  
臓が悪いと書いてあつた。

百瀬 大北先生は音楽が大変好きで  
したね。その夢を娘さんに託して  
おられたような気がする。先生が好

先生原稿をおよせ下さい

先輩諸氏  
「澁江」はわれわれ同窓生の機関誌です。みなさんのご協力を  
得て今後ますます立派なものにしていきたく存じます。  
つきましては、みなさま方の原稿を心からのぞんでいます。  
随想もちらん結構ですし、短歌、俳句、川柳、なんでも結構  
です。  
遠慮なさらずどしどし編集部までおよせ下さい。

北里 妄念といつてもいいんじゃない  
ですか。  
渡辺 先生の思い出の中に一つ是非  
書きとめておいてほしいことがある  
んですが、私が会社に入って係長に  
なつた時分に、先生が渡辺さん電車  
はあれだけのスピードで走つてい  
てもし運転手が心臓麻痺で死んだらど  
ないになりますか(笑) 憶病というよ  
り、緻密さと用意周到さだつたと思  
うが、運転の仕方を教えて、運転手  
が万一心臓麻痺を起しても、大丈夫  
です。自然に急ブレーキかかるよう  
になつていきますと話したんですが、  
何か先生の真骨頂がうかがえるよう  
で印象に残っています。

人事に独得の味

先程浅沼先生から時間割の訂  
正の話が出ていましたが、間違いと



なりまし、また財政援助もよろしくお願ひ申し上げます。  
より以上のご指導とご声援を重ねてお願ひ申し上げます。そして諸先輩の益々のご健勝を祈っております。

### 観式庭球部

四十五年度リーグ戦  
対立命館大学 3-6 大阪経済大学  
対神戸商科大学 3-6 大阪経済大学  
対大阪市立大学 1-8 大阪経済大学  
三部リーグ優勝  
二部入替戦  
対同志社大学 4-5 大阪経済大学  
この結果、関西大学対抗リーグ戦二部昇格。

淀都三大学総合定期戦  
大阪工業大学 3-6 大阪経済大学  
対桃山学院大学 4-5 大阪経済大学  
この結果一位確保。  
対東京経済大学定期戦  
東京経済大学 5-4 大阪経済大学  
全日本学生選手権  
吉村隆 ベスト32にはいる。  
関西選手権  
見陰清和 ベスト64にはいる。  
和歌山大学杯  
シングルズ 優勝

### 陸上競技部

私が経大、陸上競技部は古久保先生に顧問を、そして五島先生に監督の任にあたっていただき、伝統を築いて来たが、四十五年度は五島先生の栄転のため、古久保先生に二つの任をうけていただき、清水喜秀主将以下、十八名にて目標を関西学生大会の一部リーグ入りに置き、スタートした。白浜での合宿をかきり、猛練習を重ね、数々の記録会にて、調整を行ない、五月の関西学生大会を迎えた。  
部員数においては、他のチームに圧倒

されながらも、粘りに粘る試合展開をして、最後の種目である千六百メートルにて、ついに関西学生一部リーグ入りを決め、部始まって以来、先輩諸氏の夢であった快挙を遂げることが出来た。  
こうして自他共に認める関西学生陸上界の一流大学の名を作り上げる余勢をかって、六月には回を重ねて十八回を迎えた東京経済大学との定期戦においても六連勝を飾り、またこの大会では両大学の同じ競技を志す者とおして、益々親交をも深めている。  
以後、四回生の勇退で新主将、小稲望にバトンタッチし、部員数不足ながらも一九九となって、夏期松江合宿にて再スタートした。  
そして、秋季の関西学生個人選手権においては、部員のほとんどが入賞する好成績を残して秋も深まり、短距離、投てき陣はシーズン・オフを迎えた。残る長距離陣は先輩諸氏のご支援、ご援助を受け、一路、関西学生駅伝の練習に練習を重ね、十二月も暮るころ、京都市内から福知山間の駅伝に全力を注いだら、総合では選手のコマ不足が否めず十四位に甘んじた。しかし関西の雄がひしめく第五区において、森田四回生がこれまた、部始まって以来の区間優勝を成し遂げ、経大の意気を示すことが出来た。  
そして四十五年度のすべての大会が終り、冬期練習では、まず体力作りを中心し、迎える春からの大会にそなえて部員一同、余念のないところである。

最後に部の顧問、監督である古久保先生、また昨年まで監督であつた五島先生それに先輩諸氏に対し、我が経大陸上部がここまで成長出来たはかりしれないご指導、ご援助を心から感謝すると共に、今後の部の発展をご期待に添うよう、努力邁進を約束したい。  
主な大会の成績  
第四十七回関西学生陸上競技対抗選手権大会  
男子二部 総合第二位  
トラック 優勝  
フィールド 第三位  
この結果、一部リーグに昇格。  
第十八回、対東京経済大学定期戦 総合優勝、これにて六連勝。  
関西学生駅伝大会

〇全関西学生自動車ラリー選手権大会 初出場  
〇淀都三大学総合定期戦 優勝  
〇阪神定期戦 フイギア大会  
団体の部 二位  
個人の部 二位  
〇関大ラリー 出場  
〇全日本学生自動車整備技術大会 初出場  
〇関西ラリー リタイア  
〇全関西学生自動車フイギア大会 初出場

### 空手道部

経大空手道部は「空手は礼に始まり、礼に終る」という精神を固守し、身体を鍛練し、精神を修養することを第一として、創立以来二十年の歴史を迎えた今日ますます充実したものとなっております。OBも二百名近くを数え現役も四十名と関西では有力校として知られています。戦績の方も昨年は西日本ベスト八、全関西準優勝、全日本ベスト十六と優勝まであと一息にせまっています。練習は毎日二時間でふだんは基本を中心とした体力づくり、試合前は組手をし、たまにはソフトボール、水泳、ミーティング、日光浴と変化に富んだ練習を行なっています。技術的には草野監督を中心として熱心なOBによって教えてもらっています。春夏の合宿のほか各試合前に二部練習と強化合宿を行っています。卒業してからは一年の時の夏期合宿での夜間練習や胆ためしが一番なつかしく思い出される事と思います。試合は一本組手で技あり二つで一本になっています。原則として体に当る直前に止めることになっていますが、たまに顔などに当つて反則負けになることがあります。空手は刹那の魅力であると言われるように試合の勝敗はスピードによって決まります。  
現在、関西学生空手道連盟には四十五校が加盟しており、各大学のリーダーを集めて合宿する計画も出ており、以前のように対抗心だけでなく親睦を深めつつあります。昨年第一回世界空手道選手権大会が東京と大阪で開催され日本チームが優勝しました。体力的に劣る日本人が大きな外人を負かすのを見て何か快いも

総合第十四位、  
個人第五区 森田雅和優勝。

### 卓球部

同窓会の機関誌に載せられます卓球部のこの一年間の活動状況を紹介させていただきます。  
我卓球部は四十年の伝統をもち、その間、関西の一部を維持してきました。二部に転落しても二シーズンも一部復帰出来なかったことはありませんでした。しかし四十五年度はまったく不本意な成績に終わってしまいました。春季リーグ戦で一部の座を明け渡し、秋季リーグ戦では二部で全勝したのですが、一部との入替戦で関西大学とあたり4-2で敗れ、とうとう一部に復帰することが出来ませんでした。しかし暗い材料ばかりではありません。若い人の活躍により新人戦では団体三位、Sベスト八に二名、Wベスト八に二組入り、関西学生卓球選手権におきましては、単、複ランク選手三名をだしました秋の西日本選手権では単、複ともベスト八に入りました。  
四十六年度こそは、一部復帰しようと日夜練習に励んでいます。卓球部員一同は、強靱なるチームワークのもとに当部発展のため、また経大発展のために精進する覚悟です。

四十五年度 春期リーグ戦  
大経大22-10 桃山大  
大経大22-13 関西学院大  
大経大16-14 関西大  
大経大13-18 同志社大  
大経大22-15 甲南大  
四勝一敗 二位  
新人戦  
一回戦 大経大16-6 立命大  
二回戦 大経大27-11 大阪府立大  
三回戦 大経大27-13 滝谷大  
決勝 大経大8-22 天体大  
準優勝  
大阪学生ハンドボール選手権大会  
一回戦 大経大30-14 大阪工業大  
二回戦 大経大21-5 大阪府立大  
決勝 大経大22-15 関西大

### ハンドボール部

のを感じましたが、外人の空手道に対する熱意は並々ならぬものがあり、五年十年先には負けるようになるかもしれせん。そうならないように全力を尽くして後輩を育てていきたいと思ひます。「剣は鞘内の宝」という諺がありますが空手を習う者として「和」による協調、共存の心構えでそして常に「和」の心をもって人に接したいと思ひます。

大阪経済大学体育会アイス、スケート部の活動状況を主な試合の戦績を中心に記しておきます。  
なお、同窓機関誌「瀬江」七号の編集に少しでもお役にたつことと思ひます。今後ますますのご発展をお祈り申し上げます。  
四月十八日、三大学定期戦(梅田リンク) 総合優勝  
五百メートル  
二位 公文公(三年)  
三位 西徹(四年)  
千メートル  
二位 西徹  
三位 公文公  
千五百メートル  
一位 梶村貞男(四年)  
二位 新開精二(三年)  
三位 光石利洋  
千五メートルリレー 一位  
(梶村、西、新開、公文公)  
四月二十三日、インドア全関西学生選手権大会(ラサリンク)  
総合第三位(十五点)  
五百メートル  
四位 西徹  
千メートル  
三位 公文公  
千五百メートル  
四位 梶村貞男  
六位 公文公  
三千メートル  
四位 新開精二  
失格 梶村貞男

### アイススケート部

千五百メートルリレー 三位  
(梶村、西、新開、公文)  
四月三十日、全関西一般選手権大会(桜宮リンク)  
五百メートル 六位 西徹  
千メートル 四位 西徹  
千五百メートル 三位 梶村貞男  
四位 新開精二  
五位 公文公  
三位 梶村貞男  
四位 公文公  
二位 西徹  
千メートルリレー 二位  
(西、新開、公文、梶村)  
なお、その他毎年、大阪府の団体選手として我がクラブから常に出場しております。  
昭和四十五年十二月二十五、二十六日に行なわれました第九回アウトドア全関西学生氷上競技選手権大会の成績をお知らせ致します。(富士スバルランドスケートセンターにて)  
五百メートル  
十二位 西 四十九秒二  
十四位 中村 五十秒一  
十三位 木村 五十九秒四  
千五百メートル  
五位 梶村 二分二十九秒五  
六位 公文 二分三十二秒二  
八位 西 二分三十四秒九  
三千メートル  
八位 梶村 五分十三秒二  
十五位 公文 五分二十九秒二  
二十二位 新開 五分四十秒七  
五千メートル  
九位 光石 九分三十五秒一  
十四位 上田 九分四十七秒七  
十八位 新開 九分五十三秒四  
二千メートルリレー 八位  
総合成績 四位(三点)

優勝  
西日本学生ハンドボール選手権大会  
一回戦 大経大36-9 西南学院大  
二回戦 大経大30-14 南山大  
三回戦 大経大29-19 追手門学院大  
四回戦 大経大19-13 関西大  
決勝 大経大15-10 中京大  
優勝  
秋季リーグ戦  
大経大20-12 関西大  
大経大23-14 桃山大  
大経大18-16 関西学院大  
大経大17-14 天体大  
大経大7-14 同志社大  
得失点差により三位  
全日本学生ハンドボール選手権大会  
一回戦 大経大15-12 中京大  
二回戦 大経大8-21 立教大  
ベスト16

四十五年度戦績  
四十五年関西学生春季リーグ戦  
大経大2-3 同志社大学  
大経大1-4 関西学院大学  
大経大2-1-3 大阪商業大学  
大経大4-1-1 京都大学  
大経大3-2 関西大学  
二勝三敗  
一部四位  
大阪学生学校対抗大会  
準決勝  
大経大3-2 関西大学  
決勝  
大経大3-2 大阪商業大学  
三年連続四年度目の優勝  
大阪府民大会  
決勝  
佐々木(大) 仲内(大) 松本(大) 藤野(大) 藤野組  
準優勝 佐々木・藤野組  
大阪学生選手権大会  
三位 藤野・吉川組  
全日本学生選手権大会  
五位 夏目・坂田組  
阪神七大学リーグ戦(三十回大会)  
決勝  
大経大5-0 大阪商業大学(六勝)  
大経大5-1 大阪商業大学(五勝一敗)

四十五年度リーグ戦  
対立命館大学 3-6 大阪経済大学  
対神戸商科大学 3-6 大阪経済大学  
対大阪市立大学 1-8 大阪経済大学  
三部リーグ優勝  
二部入替戦  
対同志社大学 4-5 大阪経済大学  
この結果、関西大学対抗リーグ戦二部昇格。  
淀都三大学総合定期戦  
大阪工業大学 3-6 大阪経済大学  
対桃山学院大学 4-5 大阪経済大学  
この結果一位確保。  
対東京経済大学定期戦  
東京経済大学 5-4 大阪経済大学  
全日本学生選手権  
吉村隆 ベスト32にはいる。  
関西選手権  
見陰清和 ベスト64にはいる。  
和歌山大学杯  
シングルズ 優勝

### 観式庭球部

私が経大、陸上競技部は古久保先生に顧問を、そして五島先生に監督の任にあたっていただき、伝統を築いて来たが、四十五年度は五島先生の栄転のため、古久保先生に二つの任をうけていただき、清水喜秀主将以下、十八名にて目標を関西学生大会の一部リーグ入りに置き、スタートした。白浜での合宿をかきり、猛練習を重ね、数々の記録会にて、調整を行ない、五月の関西学生大会を迎えた。  
部員数においては、他のチームに圧倒

### 日本拳法

45年5月14日  
第15回全関西大会 準優勝  
第1試合 大経大7-1 滝谷大2  
第2試合 大経大7-1 大阪商大1  
第3試合 大経大7-1 桃山大6  
優勝戦 大経大6-1 関西大7  
6月20日  
淀都三大学総合大会 優勝  
11月22日  
中部十周年記念試合 3位  
第1試合 大経大5-1 立正大0  
(2引分け)  
第2試合 早稲田大5-1 大経大2  
3位決定戦 大経大3-1 名古屋大1  
(3引分け)  
1位 桃山大  
2位 早稲田大  
3位 大経大  
※(関西、関東、中部代表校9大学で行われた。)

我が自動車部は昨年全日本学生自動車連盟に加盟し、永久ゼッケン三三三として登録された。活動としては、整備を中心とし、ラリー、フイギア等の競技に出場している。また、近年の自動車交通に関する研究も続けている。

全関西学生自動車ラリー選手権大会  
初出場  
淀都三大学総合定期戦 優勝  
阪神定期戦 フイギア大会  
団体の部 二位  
個人の部 二位  
関大ラリー 出場  
全日本学生自動車整備技術大会 初出場  
関西ラリー リタイア  
全関西学生自動車フイギア大会 初出場

大経大3-2 同志社  
大経大2-1-3 関学  
大経大4-1-1 京大  
大経大2-1-3 関大  
二勝三敗  
一部四位  
関西学生選抜インドア大会  
準々決勝  
夏目(大) 北山(大) 河合(大) 同志社  
坂田(大) 三勝  
二勝一敗  
ベスト8 夏目・坂田組  
全日本学生選抜インドア大会  
十六チーム出場  
九位 夏目・坂田組



少林寺拳法同好会

我が少林寺拳法同好会は昭和四十二年に愛好会として発足し、四十四年に同好会に昇格し、現在、部員数五十名を数え「宗門の行」であるということ念頭に置いて、「自己確立」を目的とすべく、日々練習に励んでいます。

四十五年度の戦績は六月の淀都戦二位七月の関西大会では団体演武四位、団体乱捕ベスト八、総合八位、十一月の全日本大会においては、不満足な成績に終わりましたが、雪辱を果すべき十二月の近畿大会では、個人乱捕・優勝、団体乱捕・ベスト八、組演武・五位、三人掛・四位の総合三位に入賞することが出来ました。

この我が経大少林寺の活躍は、他大学に比較しても決して、ひけをとらないものだと自負している次第です。またこれを機に、他大学との交流をも深め、これからの歴史を作るべく、より一層の努力、精進をしたいと思います。

アメリカンフットボール同好会

当同好会は、昨年度末に同好会に昇格致しました新進のクラブです。昨年度の活動状況は、春の西日本大会で、一部一昨年度二位の同志社大学と対戦し、力及ばず52-0と涙をのんだわけであり、秋のリーグ戦に備え、八月中旬、北志賀高原の竜王に於て、合宿をし秋のリーグ戦に臨んだ。当同好会は昨年度は、近畿学生リーグ、京阪ブロックに所属し当ブロックに於て、三位の地位を勝ちえた。

なお、本年度より同リーグ、阪神ブロックに変わりました。

- 秋のリーグ戦戦績
関外大 14-0 大経大
名古屋学院大 6-20 大経大
大阪学院大 26-28 大経大
京産大 8-10 大経大
追手門大 24-18 大経大

洋弓同好会

昭和四十五年度事業日程及び戦績

Table with 2 columns: Date and Event/Score. Includes events like リーグ戦開会式, 対大阪市立大学戦, 対近畿大学戦, etc.

ユースホステル同好会

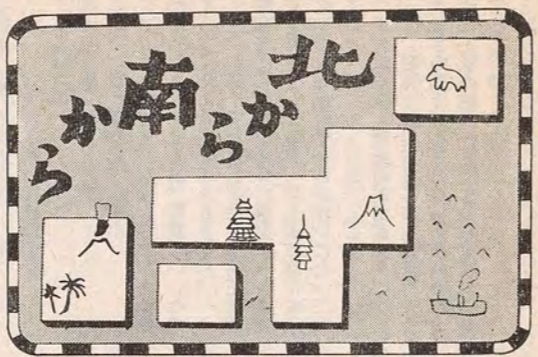
本会はユースホステル運動を広めたいことを実践していくものであり、戦績というものはありませんが、他大学ユースホステルクラブ(YHC)と交流を深め一歩でも前進しようと努めております。まだ四年目であり、数名の先輩しかもちませんが、少しづつ不断的努力をしております。

- 年間行事(昭和45年度)
4月1-3日 春合宿(伊豆、踊り子コニス、完全徒歩)
4月中旬 新入部員募集
5月9日 新入生歓迎コンパ
5月23、24日 新入生歓迎ホステリング
5月31日 合同ハイキング
6月13-14日 研修ホステリング(梅花女子大YHC合同にて)
6月20-21日 大阪学生ユースラリー参加(在阪大学、YHC参加)
7月4-5日 キャンピング講習(仁川於)

体育会名簿

以上が、締切りまでにいただいた各部並びに同好会・愛好会の活躍のあとです。なお、このほかにも左記のように体育会には各部、並びに同好会、愛好会があります。ご報告いただかなかった各部においてもそれぞれ奮闘中です。皆様のご声援を心から願っています。

- 空手道部
日本拳法部
柔道部
剣道部
合気道部
硬式野球部
準硬式野球部
硬式庭球部
軟式庭球部
サッカー部
ラグビー部
ハンドボール部
卓球部
バスケットボール部
バレーボール部
ボクシング部
陸上競技部
バドミントン部
サイクリング部
山岳部
アイススケート部
ゴルフ部
スキー部
カヌー部
自動車部
ヨット同好会
ウエイトリフティング同好会
少林寺拳法同好会
洋弓同好会
アメリカン・フットボール同好会



アンケート短

この原稿は、同窓会会員の皆さんからお寄せいただいたもので、事務局の名簿に より無さく抽出で選んだ方々です。
① 現況
② 母校同窓会に希望すること
③ 同窓の友人などのこと
④ 自由にお書き下さい。
⑤ アンケート式の質問に対してお寄せいただいた短信です。
もとより、同窓会会員は全国各地にあって、北は北海道から南は九州鹿児島にいたるまでそれぞれ活躍中ですが、これはその近況です。

で東京在住の奥谷君等と三十年振りで見えたのは大変懐かしかった。大阪の木野君が時々思いついて山奥まで足を伸べて家族の方々も共に来て頂けるので嬉しいです。なおひふみ会に毎日ご出席を賜わる中村先生には厚くお礼申し上げますと共に、先生のご健康を切に祈り上げます。

四、近頃の若い者はあまりオヤジ連中とつき合いたがらないようですが、我々三回生ともなれば息子や娘夫婦、それに孫連も加えて一緒に遊べる野郎ペーテイのような集まりを一度位は是非同期会でも持たたいものだと思っています。

住所 兵庫県川辺郡猪名川町杉生
勤先 満野寒天工場
第三回 玉井芳郎
学長が何故選出困難かを慎重に考慮すべきです。起點明白に公表願います。

第四回 飯田種次
初代校長 黒正先生
私は、大学を卒業したいばかりに、年とってから、昭和商に編入させて頂きました。三十五、六年も前の事です。

今はなき、黒正校長先生、大北教頭先生、米津学生監先生、それに健在の中村教務主任先生から、試験官というよりは、長い間の友達というような、温情あふれたまなざしで、最後の口頭試問と人物評定のあった事など、今もなお、頭の底には、はっきりと残っております。

当時私は、正式の学歴もなく、文部省の師範、中学、高女教員の検定を通じて

市岡商業に奉職しておる時でした。うちの学校を、今日の大学への基礎を作られた黒正、菅野両博士からは卒業後、も時おり市岡におみえになられて、私が一人前の教育者として生きて行く本道の道、色々と教えて頂きました。

大学も出て、先生がたのあとを追って戦時中の経営難の時から、私も校長のつとめをさせて頂きました。母校経大が大きな足がかりとなり、亡き先生方がご生存であったら、敗戦後の教育のありかたを、どうお考えになられておるかと思いをいたしました。

まる四十五年間の教職中、精いっぱい仕事をさせて頂きました。今、黒正先生と初代市岡の名校長堀口先生のごくんとおの賜で、私はよい先生にめぐまれて、よい友だちにめぐりあえたおかげです。

年いった今、世間でいう目立った華々しい生活は何一つしなかったが、わが生涯には悔いはなかったとシンクから思っております。

その道一筋に一生涯を貫いたという事は、しんどい事も沢山ありました。の、満五十四年間の大阪での努力のあとを振り返って、苦勞はしたが、ありがた

い、めったにない恵まれた苦勞であったと、ただただ感謝致しております。
去年の春、生れ家に帰りましたが、大阪におります時からちょうど二十年の間、バアサンと二人して、釜が崎の貧民タツの真長屋で、どこからも二円の補助も受けずに自力で福祉館と診療所を運営しておりました。

マスコミさんが底辺の神だとか、釜が崎のマリアさまなどと、ご勝手な題目を

つけて全国に流されますので、見学の方々が沢山おみえになりまして、今もなおおつきあひしております。
松坂の田舎に戻りましたが、釜が崎の延長として組織、制度、そのままそっくりにして、老人病で悩んでおる人達を相手に一切無料のご奉仕を気持ちよく続けさせていたいております。

田舎は世間が狭いので、おまへの所が無料診療所とおると、うちの患者が減るとして弾圧を受けておりますが、死ぬまで続けます。

気が付いてみると、いつの間にか私も六十九になっておりました。今は亡き恩師のご冥福を祈りつつ、母校経大と初代校長先生黒正博士に最大の感謝をささげておる物でございます。

第三、同窓会に不参のため一度会いたいと念願しています。
四、役員の方々のご苦勞を先ず厚く御礼申し上げます。小生も二十二年子供のため教育関係に関係致しておりましたが、昨年十月より第一線を引退、現在兵庫県社会教育指導員を命ぜられ、一生懸命地域社会のために頑張っております。

皆さん方にもご自愛の上ご健康願下しますよう祈念致しております。

第五回 滝山義晴
一、自営(表記箇所にて)
二、益々の発展心より嬉しく思っております。

第三回 満野圭蔵

一、卒業後家業をついで神戸に住んでいました。病を得て入院中、昭和二十年三月の空襲で神戸の自宅や営業所を失い、自營寒天工場があった現住所に移り、空気のよい山奥が幸いしてか元気になりましたが、もうポツポツ停年の年頃を迎え「命あつての物種」という言葉が実感として受け取れるようになりました。

二、同窓会には極力出席するようにしていますが卒業回数とは関係なく、先輩、後輩共々交歓できるような何か良い方法はないか?
いつも幹事の方達には感謝していま

三、昨年は伊良湖岬での三回生同期会の

北から南から

第五回 河北正明
二世の経大受験、入学を耳にするにつけ容赦なく増進する「白髪」と「視力の衰え」を納得せざるをえない今日この頃です。

最近思いがけない同窓諸兄からのお声がかかりが多くなりました。年令のなせるわざか、いやいや無事息災をこそ祝うべきでありましょう。

今年の同窓会を機に何とか第五回生の会合を持ちたいものと思ひます。ご賛同下さいませよう。

第六回 田中彰
現在 総合食料品店 おふくろの味「大徳」そして去年二月店舗改装小型スーパー型店舗として発足、家族五人毎日商店経営に努力しております。

京都桂離宮、金閣寺見学の節はお立寄り下さい。場所は西大路通り八条西入る南側です。

第七回 伊東六雄

昭和十六年といえは中年以上の人なら誰でも直ぐに思い出す太平洋戦争の母校を後にして大阪を去った。最初に赴任した地は茨城県の日上市であった。

日立製作所の社員として入営までの一年間を此の地で過ごした。ぼつぼつ物資の乏しくなりかけた頃である。だが青春時代の思い出の地として大阪と共に最も心の中に残るのはこの町である。

第六回 植田実

一、印刷に従事しております。二、あまりご無沙汰致しておりますので申し訳ありませんが、現状でいいのでしよう。別に希望とてありません。

三、昭和十五年三月卒業の中村正雄氏昭和二十年七月十九日に南方において戦死されました。現在、母上が京都市左京区聖護院川原町十一にお住いになっておられます。

中村浪子様(母上のお名前です。)四、昭和十五年三月に卒業以来、二十六年目の四十二年二月から、思いもかけず王城の地の一区である右京区の桂に移転し、朝夕、京都線のお世話になる身となりました。

朝夕、上新庄を通りますが、大阪方面の駅前の変わりようはすさまじく、小生の時代には空地で、昔は現在新幹線の橋けたになっていて、ところに水路(田畑用の)が流れていたのですが、また母校に時々行きますが、迷路が多くてよく迷います。昔は水路の横に木や太い道路が一直線にあったのですが。

母校の敷居が高くないようにせねばと思つています。

第六回 田中彰

現在 総合食料品店 おふくろの味「大徳」そして去年二月店舗改装小型スーパー型店舗として発足、家族五人毎日商店経営に努力しております。

京都桂離宮、金閣寺見学の節はお立寄り下さい。場所は西大路通り八条西入る南側です。

第七回 伊東六雄

昭和十六年といえは中年以上の人なら誰でも直ぐに思い出す太平洋戦争の母校を後にして大阪を去った。最初に赴任した地は茨城県の日上市であった。

日立製作所の社員として入営までの一年間を此の地で過ごした。ぼつぼつ物資の乏しくなりかけた頃である。だが青春時代の思い出の地として大阪と共に最も心の中に残るのはこの町である。

役員として入営、それから復員する迄の四年間中支から広報、タイ、ビルマと転職した。同級生の岡岡君とは同年兵であり、楊子江沿岸のある町で思いがけなく顔を合わせた。タイ国のバンコックで島村君にばつたり出会ったのはびっくりした。二人とも見習士官であった。内地へ帰って陸軍病院で中西君に会ったのも思い出である。

インパールの戦いに生き残つて悪性マラリヤと栄養失調でやせ衰えて内地へ帰る。杖にすがつて任地の日立へおもむいた私の目に映じたものは激しい爆撃と艦砲射撃で無残にも打ちくたされた工場の残骸であった。会社の立ち直りを無理と見た私のこの時の決心が私

の人生の転換点となった。辞表を出して故郷の長野へもどった。当時山深い信州にもあちらこちらに進駐軍と称するアメリカ兵が見られた。下手ながらも英語が好きで得意であった私は勧められるままに通訳として米軍施設に身をおくことになった。英語との結びつきは米軍の撤退と共に英語教員に転ずることが最も手取り早い身のふり方であった。男子高校を振り出しに女子高校から実業高校へと転々。いつの間にか二十年の年月が過ぎてしまった。船も五〇

を過ぎ、めっきり白髪も増えたが、気は若く、仕事面白く、酒もまた美味しい、心身健康、四人の子供(二十才から三才迄)の父親としてまだまだ当分は働かねばならぬと思つている。

第八回 小林和人

平素のご無沙汰申訳ありません。過日報記載の依頼状況頂いておりますがご返事出来なくて申訳なく期日遅れましたが、悪しからずご了承下さい。出張途時に内容忘却しましたが、此の点もご了承下さい。

一、現況、過去十四、五年いろいろな事がありまして、小生自身浮き沈みの日々を過ごしましたが、現在は新分野にて暫く落ち着いた状態です。同窓会の方もすつとご無沙汰いたしました。現在福岡におります。

二、第八回では糸瀬久光(名古屋)、尼子秀清(小倉)、岡田清(大阪)、深江一清(長崎)、橋本漢(東京)、串田一(下関)敬称略、とは文通しております。特に岡田清、尼子秀清氏とは仕事の関係にて時々会っております。

伊藤善光(旧岡坂)、石谷孝雄、沢田武男氏等に連絡とりたく、長尾氏、岸田氏にはいろいろの事でご面倒頂いております。一度土曜にお会いしたい所存です。

三、会報を通じて旧友と語る以外仲々難しい事で、今後同窓会の関係には出来るだけ努力いたします。出張途時に書いております。同窓会のご発展を祈っております。乱筆おゆるし下さい。金沢は大雪です。

第九回 平野誠次
母校並びに同窓会の益々なる隆昌ご発展の段にお慶び申し上げます。在学時代の懐かしい数々の思い出が走馬灯の如く、ついこの間のように回顧されます。

第十回 亀井一

同窓会諸君の繁栄を祈ります。同窓会諸君の繁栄を祈ります。

第十回 田中義一
一、輸出入貨物の流通部門の一端を担

末文恐縮ながら戦後並びに逝去された恩師、同窓生の冥福を衷心より謹みてお祈り申し上げますと共に、今後三年一昔のテンポの早い日本経済激動の年月を如何に克服発展に処するかが我々経済人の一大課題かと思考する次第、各位のご健康を期待すると共に、ご交信の程鶴首致します。

第十回 池田 稔
母校の年々成長して行く姿を見るにつけ本当に嬉しく思います。小生卒業以来家業の注文洋販商を営んでおります。四十年に心齋橋筋一丁目に支店「心齋橋テラー」を四十四年に阪急豊中駅前ニチイ豊中店に「心齋橋テラー池田」として営業しております。精々ご愛顧をお待ちしております。

小生在学中は軟式野球部と写真部に在籍、良き友人や先輩に接し有意義な学生生活を送り得たことを実社会へ出た今本当に懐かしと思われまふ。大学生生活は勉強にいたが、クラブ活動においては心からつき合える友を得る意味で在校生には出来るだけクラブ活動をするようすすめたいと思ひます。年々盛会になって行く同窓会に出席するのが楽しみです。出来るだけさし合せ、また三十一回生だけの会も持てる日を楽しみにしています。

第十二回 竹縄 広善
卒業後一六年。現在は運輸会社に頭張っております。毎年「澁江」を読むのが楽しみです。実社会において同窓諸兄はどなたがたいものはありません。事業の關係上諸官庁、銀行、会社等によく出入りますが、そこでO・Bが頑張っております。是非非常に心強い。学園紛争もようやく下火となりました。ことごと心配しました。一時はどうなることかと心配しました。最近ゴルフが好きになりました。みどりの自然は健康によい。

北から南から

第十一回 小関 誠
一、終戦後何の選択もなく全くの畑違いの表記勤務に入ったが今最も問題の山積する農政の中の機関であるので妙味のある仕事の現中である。二、同窓会でなくクラス会等縮小した範囲でしかも場所も大阪に固定することなくたまには中間の場所を選び数多くの人が集まれるよう企画されたい。三、同期卒業で最後迄共に起居していた新潟県の杉本卓三君の動向を知りたい。四、先日在校時ラグビー部で特に親交のあった今は故人となられた嶋津繁雄氏の遺族をたづね遺影に挨拶してきたい。既に数年前から遺族の方とは文通しています。

第十三回 坂中 良
学校を卒業して二十余年経った。前途に希望をもって巣立ったがその人生も終りに近づいて来た。九才の長男と七十二才の姑をかかえて女一人生きて行くために現在の職業を選び、長男も今年高校に入学出来るようになった。税法に明け、税法に出来る毎日、頭の先が白くなつていくのがわかる毎日ではあるが有意義な価値のある日を送っている。またもや今年も税務期に入った。呼出、実地調査の立

会で外へ毎日飛び出して行く。だが女としてこれが幸せと云えるかどうか、私の考え方は女は家庭にあって夫の陰にあり夫につきずものである。女らしい女で一生を過す事が何かに幸せであるか、同窓の諸姉はおわかりになっておられるであろうか?家庭にあり夫に小供に毎日を追われて暮らしておられる諸姉も、現在の幸せをよくかみしめて有意義な人生を送つて下さる事を祈つてやみません。最後にあってはならぬ事ですが、もし相続税に悩む日がありましたら是非ご相談にのらせて下さい。力の限り貴女の味方になり、適切な処置をさせていただきます事を約束いたします。

第十三回 田旗 美智子
「澁江」毎回楽しく拝見させて頂いております。母校の発展をいつも嬉しく存じますが、同窓会も年一度楽しく開いておりますが、いつも同じ顔ぶれになりますので友人の消息などは私達の当時の先生方の消息なども記載していただければ幸甚と思ひます。母校にも一度同窓会に訪れたと思ひますが、昨今男子の方が多くと思ひますのでどうしても行きそびれますので、やはり「澁江」の訪れが待ち遠しく思ひます。今後共々どうぞよろしく。ますます同窓の充実したものを待ち望んでおります。

第十四回 野島 ツルエ
一、平凡な日々を過しております。はや定年十年前という年齢になり焦りに似た気持ち(高一、中三、小四)の女、男、男、の食へ盛りの子供と悪戯苦悶の毎日です。他に住込の店員さん二人と七人の家族構成です。八人兄弟の長男という主人と共に、いつも一ダース以上の人たちとヤガヤ忙しさを十年余り送つて、今はその複雑さが少しやすらいではつとしたところですよ。

私の住んでいる明石の町は住むには快適なところですよ。古い旧市内と急に出来た明舞団地と面白いコントラストのある町で、白砂青松と讃えられた面影が少しは残っています。まだ目立った公害に見舞われることなく、青い空とおいしい空気があります。二、卒業して十年、二十年という歳月はどんなに親しかった友人も次第に疎遠になり勝ち、境遇のちがいが加わつてその人達が集まるのはむづかしいことと思ひますが、一年に一度ぐらひは昔の仲間と例え境遇はちがっても話はずむ共通なものがあるのだから暖められて残っているものがあるのだからいつでも会に出席出来て、出るだけで楽しい雰囲気であつてほしいと思ひます。

三、最近では集るとやっぱり老後という話が出すようになりました。子供の成長と共にこぢろはいくらいやがって老後への道を歩んでいるのですから、おなじ年の仲間十四回の中からそんな事を話し合つたり考えたりする場を持ちましょうという話が出ています。具体的にはまだ何一つ決つていませんが、意義ある老後を考えてみませんか。

第十四回 本間 洋子
昨年の同窓会総会に出席して久しぶりに学生時代にかえつたような楽しい一時を過ごしました。昨年お逢い出来なかつた方々にも今年ぜひお逢いしたいと思つております。

同窓の皆様のご健康とご活躍、並びに母校の今後の発展を心からお祈りします。

第十五回 奥田 芳朗
大変失礼致しまして誠にすみません。失念致しており重々お詫び申し上げます。

第十七回 小田 和男

それでは母校の発展を祈る。

第二十二回 井上義一

私は国鉄労働者です。学生時代の気持で一生懸命、地域活動、文化活動を行って、います(市民経済研究会)。

第二十四回 平尾 柳太郎

今年は私に取って、過去の努力の結果が実ってくる年を迎える事になりました。

第二十七年 武田 和 弘

私は神戸支部の総会には毎年出席して、います。いつも集まりはよく本部総会に負けぬくらいです。

第二十八回 西田 諱 司

過日「太閤園」での同窓会に出席した。卒業年次の新しい者ほど出席者悪く、

第三十回 柳本 和 宏

一、市バス城北公園前にて父親と一緒に鍼灸、柔道整復(ほねつき)を一日百人前後の患者を相手に営んでいます。

第三十回 浅原 博文

前略ご免下さい。私は学校卒業と同時に海上自衛隊幹部候補生学校(広島、江田島)へ入校し四ヶ月余り家庭の事情で中途退学しなければならなかったのです。

第三十一回 川上 勝 明

人間関係の微妙なる葛藤に生きる喜びをかみしめつつの卒業後六年であるけれども、よくよく反省してみれば、矢張り歴史の重みを痛感する次第です。

第三十二回 山本 勇 白

個人にしろ、社会にしろ、学校にして、も、現在の状況を真摯に直視してみると、首肯せざるをえないようです。

第三十二回 荒木 不二夫

卒業以来五年があつたという間に過ぎ去ったのですが、この間の社会の変化の激しさの割に自分が全然進歩してないことに気が付き、びつくりしている次第です。

第三十三回 岡本 直 樹

母校並に母校同窓会の益々のご隆盛の御事お慶び申し上げます。また、その発展に寄与されています諸先生並に諸先輩の方々に深く敬意を表します。

番かと思われず。矢張り校風というものは在校生諸兄の研究心と実行力で建て直されるものではないかと思う。

第三十三回 岡本 直 樹

母校並に母校同窓会の益々のご隆盛の御事お慶び申し上げます。また、その発展に寄与されています諸先生並に諸先輩の方々に深く敬意を表します。

第三十四回 国枝 繁

卒業して三年、元気に会社勤務に励んでいます。入社以来つくづく思いますのが「時間」の大切さである。

第三十四回 前 園 博 隆

現在鹿児島市においてワイヤロープ関係の仕事をしております。四十五年度は同窓会の同窓会に出席。一時乍ら楽しい思いをさせてもらいました。

第三十四回 柳 井 淳 一

学窓を巣立ち早や三年余りが過ぎ、私もようやく一人前の社会人として皆様方の仲間入りさせて頂こうとしております。

第三十四回 柳 井 淳 一

筆無精な私の事、書けばダラダラと長くなるばかりなので此の程度で止めさせて頂きますが、最後に畫面をお借りし、末筆乍ら、私のセミ担当の松村幸一先生お元気ですか?

に一回の集りだ。友と語り合い大いさわぐ日が一日くらいあつても良いではありませぬか。

第三十九回 會 我 積

一、就職部のお世話で大阪相互銀行に入行し早くも八年を経過、現在中堅行員として厳しい情勢の中で頑張っています。

第三十回 柳本 和 宏

一、市バス城北公園前にて父親と一緒に鍼灸、柔道整復(ほねつき)を一日百人前後の患者を相手に営んでいます。

第三十回 浅原 博文

前略ご免下さい。私は学校卒業と同時に海上自衛隊幹部候補生学校(広島、江田島)へ入校し四ヶ月余り家庭の事情で中途退学しなければならなかったのです。

第三十一回 川上 勝 明

人間関係の微妙なる葛藤に生きる喜びをかみしめつつの卒業後六年であるけれども、よくよく反省してみれば、矢張り歴史の重みを痛感する次第です。

第三十二回 山本 勇 白

個人にしろ、社会にしろ、学校にして、も、現在の状況を真摯に直視してみると、首肯せざるをえないようです。

第三十二回 荒木 不二夫

卒業以来五年があつたという間に過ぎ去ったのですが、この間の社会の変化の激しさの割に自分が全然進歩してないことに気が付き、びつくりしている次第です。

第三十三回 岡本 直 樹

母校並に母校同窓会の益々のご隆盛の御事お慶び申し上げます。また、その発展に寄与されています諸先生並に諸先輩の方々に深く敬意を表します。

第三十四回 国枝 繁

卒業して三年、元気に会社勤務に励んでいます。入社以来つくづく思いますのが「時間」の大切さである。

第三十四回 前 園 博 隆

現在鹿児島市においてワイヤロープ関係の仕事をしております。四十五年度は同窓会の同窓会に出席。一時乍ら楽しい思いをさせてもらいました。

第三十四回 柳 井 淳 一

学窓を巣立ち早や三年余りが過ぎ、私もようやく一人前の社会人として皆様方の仲間入りさせて頂こうとしております。

第三十四回 柳 井 淳 一

筆無精な私の事、書けばダラダラと長くなるばかりなので此の程度で止めさせて頂きますが、最後に畫面をお借りし、末筆乍ら、私のセミ担当の松村幸一先生お元気ですか?

それでは母校の発展を祈る。

第二十二回 井上義一

私は国鉄労働者です。学生時代の気持で一生懸命、地域活動、文化活動を行って、います(市民経済研究会)。

第二十四回 平尾 柳太郎

今年は私に取って、過去の努力の結果が実ってくる年を迎える事になりました。

第二十七年 武田 和 弘

私は神戸支部の総会には毎年出席して、います。いつも集まりはよく本部総会に負けぬくらいです。

第二十八回 西田 諱 司

過日「太閤園」での同窓会に出席した。卒業年次の新しい者ほど出席者悪く、

第三十回 柳本 和 宏

一、市バス城北公園前にて父親と一緒に鍼灸、柔道整復(ほねつき)を一日百人前後の患者を相手に営んでいます。

第三十回 浅原 博文

前略ご免下さい。私は学校卒業と同時に海上自衛隊幹部候補生学校(広島、江田島)へ入校し四ヶ月余り家庭の事情で中途退学しなければならなかったのです。

第三十一回 川上 勝 明

人間関係の微妙なる葛藤に生きる喜びをかみしめつつの卒業後六年であるけれども、よくよく反省してみれば、矢張り歴史の重みを痛感する次第です。

第三十二回 山本 勇 白

個人にしろ、社会にしろ、学校にして、も、現在の状況を真摯に直視してみると、首肯せざるをえないようです。

第三十二回 荒木 不二夫

卒業以来五年があつたという間に過ぎ去ったのですが、この間の社会の変化の激しさの割に自分が全然進歩してないことに気が付き、びつくりしている次第です。

第三十三回 岡本 直 樹

母校並に母校同窓会の益々のご隆盛の御事お慶び申し上げます。また、その発展に寄与されています諸先生並に諸先輩の方々に深く敬意を表します。

生時代ゼミナールの教授として指導戴いた田岡先生を想い出し電話を掛けた処、何とかがてやろうかと気軽に引き受けて戴き、現在なおお世話になっております。

第三十九回 會 我 積

一、就職部のお世話で大阪相互銀行に入行し早くも八年を経過、現在中堅行員として厳しい情勢の中で頑張っています。

第三十回 柳本 和 宏

一、市バス城北公園前にて父親と一緒に鍼灸、柔道整復(ほねつき)を一日百人前後の患者を相手に営んでいます。

第三十回 浅原 博文

前略ご免下さい。私は学校卒業と同時に海上自衛隊幹部候補生学校(広島、江田島)へ入校し四ヶ月余り家庭の事情で中途退学しなければならなかったのです。

第三十一回 川上 勝 明

人間関係の微妙なる葛藤に生きる喜びをかみしめつつの卒業後六年であるけれども、よくよく反省してみれば、矢張り歴史の重みを痛感する次第です。

第三十二回 山本 勇 白

個人にしろ、社会にしろ、学校にして、も、現在の状況を真摯に直視してみると、首肯せざるをえないようです。

第三十二回 荒木 不二夫

卒業以来五年があつたという間に過ぎ去ったのですが、この間の社会の変化の激しさの割に自分が全然進歩してないことに気が付き、びつくりしている次第です。

第三十三回 岡本 直 樹

母校並に母校同窓会の益々のご隆盛の御事お慶び申し上げます。また、その発展に寄与されています諸先生並に諸先輩の方々に深く敬意を表します。

第三十四回 国枝 繁

卒業して三年、元気に会社勤務に励んでいます。入社以来つくづく思いますのが「時間」の大切さである。

第三十四回 前 園 博 隆

現在鹿児島市においてワイヤロープ関係の仕事をしております。四十五年度は同窓会の同窓会に出席。一時乍ら楽しい思いをさせてもらいました。

第三十四回 柳 井 淳 一

学窓を巣立ち早や三年余りが過ぎ、私もようやく一人前の社会人として皆様方の仲間入りさせて頂こうとしております。

第三十四回 柳 井 淳 一

筆無精な私の事、書けばダラダラと長くなるばかりなので此の程度で止めさせて頂きますが、最後に畫面をお借りし、末筆乍ら、私のセミ担当の松村幸一先生お元気ですか?

心から祈ります。

母からのこの通知を送ってもらったのです  
が、自分はやはり大阪がなつかしいとい  
う感情があるのだという事を思いながら  
雑筆させて頂きました。

第三十六回 遠藤文雄  
今年度も多数の新入生が経大に入学い  
たすと思いますが、新入学生に失望を与  
えない学園になることを願います。  
学園紛争が再度なき事を願います。

第三十五回 岡本憲親  
卒業して二年になります。私は母校と  
の連がりを保つために経大論集を取っ  
ています。表紙を見るだけで親しみが湧き  
また各教授先生方の論集を読むと楽し  
き学生生活を思い出し何か未だ経大生で  
あるという錯覚さえ感ずる時があります。

ている我々であるが、その実、自らの墓  
穴を掘り続けているのかも知れない。生  
命の源といわれる水も光も大気も、そし  
て大地さえ汚し尽した人類を、神は許す  
だろうか。もうこれ以上はびこってはい  
けないと神は彼の決断を下すかも知れな  
い。それにしても人類というやつは、己  
の生命維持のために自らの生命を危くす  
る何という皮肉な存在なのだろう。  
では、私達は現時点で何を理想とし、  
何を押し進めるべきなのだろう。それが  
僅かな抵抗にしかかなり得ないとしても、  
何か子孫たちのためにしておきたいと思  
う。私が所属し、恐らく殆んどの人が何  
らかの関りがある近代企業。その企業が  
利潤追求という本来の目的を損なうこと  
なく、他方に遠大な目を持って人類存在  
の途を考えるということが、現在の社会  
に最も必要とされるのではなからうか。  
そしてそのことは、MAN、それ自体の  
存在理由の説明にもなると思える。  
それにしても、一人人類というやつは  
何処へ向かって歩いているのだろうか。  
住所 兵庫県高砂市伊保町高須  
勤務 朝日新聞製作所

第三十六回 堀村照史  
別に変わったことなく日々経過して  
前回の「澱江」楽しく読ませていた  
が、有難うございました。

私はシャープに入社して一年半福岡勤務  
となりましてそれが以来鹿児島に地にて  
シャープの計算機を販売しております。  
何分当社の場合は転勤が多く苦労も多い  
がまた新しい地に来て働く楽しさもあり  
ます。卒業するまで大阪で二十二年間暮  
っていた私にとってはプラスになる事が  
多くこちらに来て大阪で根性を出してい  
る次第です。今は自分は関西人というよ  
り九州人という位にまでこちらにそま  
り言葉も福岡と鹿児島ではかなり違いま  
す。鹿兒島にきて福岡弁もやはり出しま  
いますのでこちらの地の人は福岡出身で  
すかと尋ねる人が多いのは驚きます。  
最後に大阪を離れ二年経た現在、私の

第三十五回 岡田匡  
在学当時から友人と自動販売機、ジ  
ェックボックス等の販売を始めたため当然  
の結果として落第も致しましたが、何ん  
とかお情けで卒業させて頂き、お陰様で  
今年二月から法人組織になり、これから  
の飛躍を期し頑張っております。  
それから昭和四十三年卒の旧与田セ  
ミナルの方々、近況お知らせ下さい。

第三十六回 立花福太郎  
私は教師になる迄は某証券会社で営業  
をやっておりました。その時に感じまし  
た事ですが営業をやる卒業生はやはり先  
輩とか先輩に頼るようになると思いま  
す。そこで先輩達に頼るが有るのです  
が、同窓会名簿に勤務先と共に役職とか  
課名迄記入願えたらと思います。よろ  
しくお願い致します。  
全経大卒業生の皆様へ。

第三十六回 永尾 繁  
昨今、日本中を湧かせているテーマの  
一つに公害問題がある。GNP世界第二  
位などといわれて、喜んであくせく働い

一カ月遅れてしまった。何とも申  
しわけない。  
▽今年度の澱江編集にあたって何回  
か編集会議を開いて構想をねった  
のだが、今年は何年も続いている  
マンネリの壁を破って新しい企画  
をと相談の結果、学園紹介のグラ  
ビアを四頁削減(種ぎれもあって)  
昨年七月亡くなられた大北先生を  
語る座談会と、同窓生からの注文  
もあって体育会の戦績を掲載する  
ことにした。

感謝をいたす次第だが、いま一つ、  
写真をお送りいただく時に、名前  
と卒業回数を是非つけてくわえてい  
ただきたい。写真を見て、こんな  
になってとなつかしむ同期の方も  
多いと思うので――  
▽表紙は、ラグビー部のダイナミッ  
クなスクラムを取り上げた。  
撮影にあたってのご協力を感謝し  
ます。  
▽編集子も、これで澱江の編集にあ  
たること六年目、企画もマンネリ  
化してきたし、少々疲れもした。  
今回をもってまた新しい人にバト  
ンタッチをしたいと思う。  
▽つたない編集にご協力いただいた  
委員の方々、原稿をお寄せいただ  
いた先生方をはじめ会員の方々に

心から厚くお礼を申し上げる次第  
です。  
(松本)



澱江の発行を七月末と定めて、鏡  
意作業はつづけるのだが、なか  
か作業ははかどらない。一つでも  
原稿が欠けていたり、写真が一枚  
でも欠けていると何かおっくうに  
なってしまうのである。  
▽学生時代の試験勉強がそうだっ  
た。試験の期日が来るのはわかっ  
ている。早く勉強に取りかからね  
ばと気持はあせるのだが、遊びぐ  
せがついてしまっ、本格的に机  
に向うのは、その前日か前々日。  
▽そんなことで今年の澱江の発行も

一カ月遅れてしまった。何とも申  
しわけない。  
▽今年度の澱江編集にあたって何回  
か編集会議を開いて構想をねった  
のだが、今年は何年も続いている  
マンネリの壁を破って新しい企画  
をと相談の結果、学園紹介のグラ  
ビアを四頁削減(種ぎれもあって)  
昨年七月亡くなられた大北先生を  
語る座談会と、同窓生からの注文  
もあって体育会の戦績を掲載する  
ことにした。

感謝をいたす次第だが、いま一つ、  
写真をお送りいただく時に、名前  
と卒業回数を是非つけてくわえてい  
ただきたい。写真を見て、こんな  
になってとなつかしむ同期の方も  
多いと思うので――  
▽表紙は、ラグビー部のダイナミッ  
クなスクラムを取り上げた。  
撮影にあたってのご協力を感謝し  
ます。  
▽編集子も、これで澱江の編集にあ  
たること六年目、企画もマンネリ  
化してきたし、少々疲れもした。  
今回をもってまた新しい人にバト  
ンタッチをしたいと思う。  
▽つたない編集にご協力いただいた  
委員の方々、原稿をお寄せいただ  
いた先生方をはじめ会員の方々に

澱江 第7号  
昭和46年8月10日発行  
渡辺達好  
大阪経済大学同窓会  
大阪市東淀川区大隅通2丁目  
電話(328)2431~3番  
共成社印刷株式会社  
大阪市北区葉村町40番地  
電話大阪(371)0254

# 学歌

作詞 故秋本吉郎(元本学教授)  
作曲 柴田南雄(東京芸術  
大学教授)

# 逍遙歌

作詩 中村行男  
作曲 松川圭一

## 一 大淀の

水は春ゆく ゆたかな春だ  
芽立つ葦原 緑がしみる  
この若さ  
希望は明るい 蒼空かけて  
永遠の青春 みなぎる学園  
大阪 大阪経済大学

## 二 大樟の

蔭は裕々 夏風そよぐ  
学徒師弟が 幹負ひもちて  
諸汗に 確つかと植えた 融和の象徴  
繁れ自由の 花さく学園  
大阪 大阪経済大学

## 三 そびえたつ

白亜の殿堂 秋空高い  
澄んだ心に 鐘なりわたる  
晴れ空だ  
ひらく真理の 扉につどふ  
面はかがやく 求理の学園  
大阪 大阪経済大学

## 四 濛標

世界の商都の 入船出般  
水先みちびく 経済実践  
前途はるか  
氷る潮路も 乗切る気力だ  
自由で揺がぬ 自治立つ学園  
大阪 大阪経済大学

## (一) 此処城北に迎えたる

紺碧淀の春の夢  
惜春の賦のたゞよえは  
薫風静かに流れ来て  
逝きし苦節の十余年  
歴史は吾等に教うなり

## (五) 乱る金剛枯風の

叫ぶ野嵐粉吹雪  
緑定石に佇ずめば  
無言に教うる朔風の  
肌にきびしき鞭なれど  
懐古楽しや語り草

## (二) 水やにこれる人の世に

真理求めて遊ぶ子の  
友愛久遠に変わらまじ  
汝が悲しみに我は泣き  
吾が喜びに君や舞う  
惜みて励め我が春を

## (六) 霜ふみ通うこの朝

暮る、易きやこの夕  
真冬寒波の寄せ来てや  
淡き光のいざないに  
汝が故郷を偲ぶれば  
鐘の音さびし瑞光寺

## (三) 集いの庭を共にせし

我が学舎の乙女子は  
愁の時は過ぎ去りて  
理想の遠地にひたぶるに  
幸を求めて馳けるとや  
感激新たな此の曲に

## (七) 小鳥が森に歌うとも

小羊野辺にたわむとも  
さすらい旅の此の世には  
花びら風に待たずして  
春や心の乙女子は  
はかなき恋に泣くとかや

## (四) 虫の音すだく秋来れば

小川こよなくさびた、え  
こち吹く風に花なびき  
自然したい逍遙の  
尋ぬる途は遠くして  
雑露人生はかなしや

## (八) 想いめぐりて尽きぬ時

緑が原に人訪えば  
落葉か、れる語らいに  
愁憂の声今はなく  
新たに目醒むる者のみの  
微笑は花に映ずなり



大阪経済大学同窓会誌

NO. 7